

開港 150 周年事業推進特別委員会資料

平成 20 年 5 月 22 日

開港 150 周年関連事業について

# 開港150周年関連事業（開港150周年・創造都市事業本部等）

150周年記念事業推進課

No.	事業名称	主管局	記者発表日
1	横浜開港150周年記念式典-宮本亜門オリジナルショー-市民アンケートの実施及び結果速報	開港150周年・創造都市事業本部	2008年1月23日 2008年3月31日
	横浜開港150周年記念式典で上演する宮本亜門プロデューサー創作のオリジナルショーに反映させるため、“市民の想い”を募るアンケートを実施し、12、710件の回答をいただきました。		
2	横浜開港150周年記念イベント「開国・開港Y150」入場券販売管理センターの体制の決定	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年2月5日
	「開国・開港Y150」における入場券販売や出札窓口業務を委託する事業者が、JTB首都圏を主幹事とした入場券販売管理センターの体制が決定しました。		
3	「開国・開港Y150」交通対策計画策定及び運營業務委託事業者を選定	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年3月7日
	「開国・開港Y150」の交通対策計画策定及び運營業務の委託事業者をTSP太陽(株)に決定しました。		
4	「開国・開港Y150」入場券管理システムの構築・運用・保守及び入場券製作業務の委託事業者を選定	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年3月7日
	「開国・開港Y150」の入場券管理システムの構築・運用・保守及び入場券製作業務の委託事業者を凸版印刷(株)に決定しました。		
5	横浜開港150周年協会ライセンス管理運營業務の委託事業者決定	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年3月21日
	横浜開港150周年協会のライセンス(マスコットキャラクター及びロゴマーク等)管理及び運營業務の委託事業者を伊藤忠商事(株)に決定しました。		
6	「開国・開港Y150」開幕1年前 ～6/2入場券販売開始及び開幕1年前WEEK開催～	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年4月17日
	「開国・開港Y150」が開幕1年前を迎え、入場券を6月2日から販売します。同時に、会場構成の検討状況をお知らせします。また、ゴールデンウィーク期間中に「開幕1年前WEEK」を開催します。		
7	開港150周年ビジョン運用開始	開港150周年・創造都市事業本部 (財団法人横浜開港150周年協会)	2008年4月24日
	世界最大級の110インチ大型フルハイビジョンテレビを日本ビクター(株)から無償で貸与していただき、市営地下鉄センター南駅改札前に設置し、開港150周年のPRを行なうとともに、施設・企業等の広告を募集し、運用していきます。		

# 開港150周年関連事業（開港150周年・創造都市事業本部等）

戦略的事業誘致課

No.	事業名称	主管局	記者発表日
1	アフリカ開発会議横浜開催記念シンポジウムの開催	開港150周年・創造都市事業本部	2008年1月22日
	JICA理事長の緒方貞子氏を迎えてシンポジウムを開催します。		
2	「ヨコハマ・フォー・アフリカ」を展開	開港150周年・創造都市事業本部 水道局／環境創造局 (特)国際連合世界食糧計画WFP協会	2008年3月5日
	「ヨコハマ・フォー・アフリカ」として、「アフリカのハラペコを救え」キャンペーン、ウォーク・ザ・ワールドFORアフリカ、はまっ子どうしFORアフリカ、アフリカに届け！緑の環境募金を実施します。		
3	ポート・タウン・フェスティバル 開港5都市市長会議・環境／観光市民会議へご招待	開港150周年・創造都市事業本部	2008年3月13日
	ポート・タウン・フェスティバルで行われる「市長会議」「市民会議」へご招待します。		
4	市営地下鉄「アフリカ号」が運行	開港150周年・創造都市事業本部 教育委員会／交通局	2008年4月15日
	小中学校の子ども達が描いたアフリカの絵やアフリカ検定クイズを「はまりん号」に掲出し運行します。		
5	横浜市とJICAが連携してアフリカに貢献	開港150周年・創造都市事業本部 環境創造局／港湾局／水道局 JICA横浜	2008年4月16日
	横浜市の保有する技術でアフリカへの技術支援を実施します。(動物繁殖技術・港湾技術・水道技術)		
6	「アフリカ月間」いよいよスタート！	開港150周年・創造都市事業本部	2008年4月25日
	アフリカに関する写真展や講演会、「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーンなどを「アフリカ月間」として5月に実施します。		
7	横浜を彩るアフリカン・イルミネーション開始	開港150周年・創造都市事業本部	2008年5月9日
	山下公園通りに「アフリカン・イルミネーション」が登場します。(5/9～5/31)		

# 開港150周年関連事業（開港150周年・創造都市事業本部等）

No.	事業名称	主管局	記者発表日
1	東横線跡地活用の基本的な方向性—東横線跡地活用懇談会とりまとめ	開港150周年・創造都市事業本部	2006年1月28日
	東急東横線跡地の横浜～桜木町駅間については、「自転車も通れる遊歩道」及び「駐輪場」として整備を進めていますが、この跡地の高架下空間や壁面、旧桜木町等について、横浜市が設置した地域関係者や有識者、近隣施設、行政からなる「東横線跡地活用懇談会」により、活用の基本的な方向性がとりまとめられました。今後、この基本的な方向性に基づき、具体的な検討を進めていきます。		
2	クリエイティブシティの取組が企業に広がります！ クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク設立	開港150周年・創造都市事業本部	2008年2月4日
	横浜市へのまちづくり政策提案や、社会貢献事業などをビジネスにつなげるための企業相互の連携、情報交換、調査研究を行う場として、新たに「クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク」を設立。平成20年2月6日に設立総会を実施。クリエイティブシティという都市政策に関心がある企業が、横浜を舞台に新たな事業を創出していきます。		
3	「横浜トリエンナーレサポーターズニュース」創刊 特別企画、神戸ビエンナーレボランティアとの交流会開催	開港150周年・創造都市事業本部	2008年2月25日
	「横浜トリエンナーレ2008」を市民の力で盛り上げる為、広報やイベントなど、自主的な活動を行うグループ「横浜トリエンナーレサポーター」による横浜トリエンナーレをウォッチし、広くPRする「サポーターズニュース」が誕生。3月8日には、昨秋開催された「神戸ビエンナーレ」のボランティアとの交流会を開催します。		
4	フランス ナント市と横浜によるシンポジウム「建築・アートと都市空間の創造」を開催	開港150周年・創造都市事業本部	2008年2月26日
	フランスで最も住みやすい都市「ナント」と横浜によるシンポジウム「建築・アートと都市空間の創造」を開催		
5	創造都市=クリエイティブシティ・横浜の実現へ アートを活用したまちづくりの更なる前進と評価について	開港150周年・創造都市事業本部	2008年3月18日
	①「横浜トリエンナーレ2008」参加作家第一弾が決定しました。 ②トリエンナーレと開催時期を合わせ、地域連動型のアートフェスティバル「黄金町バザール」開催概要が決定しました。 ③本市の一連の取組に対し、文化庁長官表彰「文化芸術創造都市部門」を受賞しました！		
6	横浜オペラ未来プロジェクト2008 オペラ「秘密の結婚」を上演	開港150周年・創造都市事業本部	2008年4月15日
	2005年から始まった、オーディションで選抜された若手の歌手や演奏家を横浜から世界へ発信させる「横浜オペラ未来プロジェクト」。オペラ公演第3回目となる今年は、5月30日（金）・31日（土）に、横浜みなとみらいホールでチマローザ作曲オペラ「秘密の結婚」を上演します。小学生100組200名をご招待します。		
7	横浜トリエンナーレ2008 展覧会期間中のボランティアスタッフを募集	開港150周年・創造都市事業本部	2008年4月23日
	横浜トリエンナーレ2008の作品看視や受付、ガイドツアーの補助など、展覧会期間中のボランティアスタッフを募集します。		
8	ヨコハマEIZONE2008開催 7月24日～29日の6日間	開港150周年・創造都市事業本部	2008年4月28日
	最先端のアニメ・CGなどのデジタルコンテンツを都心部の複数会場から発信するとともに、最先端の映像クリエイターによるトークショーや関連イベントを開催します。一般の方から専門家まで、“触れて・見て・感じる”ことで、最先端の映像を感動とともにお伝えします。横浜の特性を活かした映像産業の集積に向けた土壌づくりや「映像文化都市ヨコハマ」のより一層の定着を目指して、さらにパワーアップして開催します。		

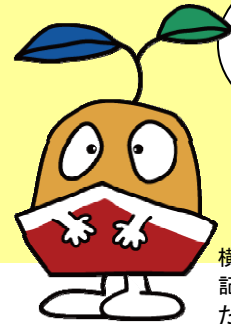
## 開港150周年関連事業（関連局）

No.	事業名称	主管局	記者発表日
1	「2009横浜国際トライアスロン大会」詳細日程・コース(案)決定&広報親善大使任命について	市民活力推進局	2008年3月12日
	標記大会の日程の詳細と競技コースがきまりました。		
2	第20回全国「みどりの愛護」のつどい 横浜動物の森公園を会場に開催決定	環境創造局	2008年2月29日
	第20回(平成21年)全国「みどりの愛護」のつどいが、横浜動物の森公園(よこはま動物園ズーラシア未整備地区)を会場に開催されることが、国土交通大臣より決定されました。		
3	横浜開港150周年記念事業「横浜マリンタワー」の外観をリニューアル	経済観光局	2008年3月25日
	タワーの色を「シルバー」を主体に、内側は「ブラウンオリーブ」とします。		
4	日本丸メモリアルパークのシンボルマークと、横浜マリタイムミュージアムの新名称の意見募集及び決定	港湾局	2008年1月21日 2008年3月21日
	開港150周年の平成21年度にリニューアルオープンする、日本丸メモリアルパークのシンボルマークと横浜マリタイムミュージアムの新名称の意見募集を行い、平成20年1月22日～2月11日までに行われた意見募集の結果、日本丸メモリアルパークのシンボルマークと横浜マリタイムミュージアムの新名称「横浜みなと博物館」が決定しました。		
5	「海フェスタ」横浜開催決定	港湾局	2008年5月14日
	毎年、全国の主要港湾都市において開催されている「海フェスタ」の平成21年開催が、開港150周年を迎える横浜に決定しました。同フェスタは、開港150周年記念事業の一環として行います。		

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 横浜開港 150 周年記念式典

# あなたの“ヨコハマ” ショーにします！



たくさん  
応募して  
ね！

横浜開港 150 周年  
記念事業マスコットキャラクター  
たねまる

## 宮本亜門オリジナルショーの制作に向け 市民の「横浜への想い」を募集！

2009年に開催される「横浜開港150周年記念式典」では、プロデューサーの宮本亜門氏 作・演出によるオリジナルショーを上演します。

ショーの制作にあたって、市民の横浜に対する「想い」を募り、シナリオに反映させていきたいという宮本氏の希望により、市民アンケートを実施することになりました。

横浜開港150年の歴史と未来を語る、歌やダンス、映像などによるショーを制作します。

アンケートでお寄せいただいた「横浜のイメージ」や「歌」、「エピソード」、「未来像」などを、織り込んでいきます。

「横浜市民の想い」がいっぱい詰まったショーをつくりましょう。

### アンケートの項目は・・・

- 1 横浜のイメージを一言でいうと？
- 2 横浜にちなんだ歌で好きな曲は？
- 3 横浜にちなんだ文学・映画・ドラマ・漫画などで好きなものは？
- 4 横浜での出来事（個人的なことでも可）でもっとも印象的なことは？
- 5 横浜ゆかりの有名人（過去・現在問わず）といえば誰？
- 6 横浜の未来はどうなってほしい？



宮本亜門プロデューサー

裏面あり

## 募集概要は・・・

### ●募集期間

平成20年2月1日（金）～3月24日（月）（必着）

### ●応募方法

区役所・PRボックスなどで配布するリーフレットの応募はがき（一般の郵便はがきでも可）に住所・氏名・電話番号・年代・アンケートの答えを書いて、〒231-8799 郵便事業（株）横浜港支店留「150周年記念式典アンケート係」あてにお送りください。FAXの場合の送付先は045（222）7841です。また、記念式典のホームページ <http://www.y150shikiten.jp> の応募フォーマットからでも応募できます。

### ●プレゼント

応募していただいた方の中から抽選で150名様に図書カード（1,000円分）をお送りします。なお、プレゼント不要の方は、応募の際、住所・氏名・電話番号の記載は必要ありません。

### ●問合せ先

横浜開港150周年記念式典実行委員会事務局  
「150周年記念式典アンケート係」  
TEL 045（222）7840

## 参 考

### 横浜開港150周年記念式典概要

横浜開港150周年を多くの市民とともに祝い、日本の近代化を牽引してきた横浜の歴史と先人の業績に感謝するとともに、未来への希望を共有し、さらなる発展への契機とするため、横浜開港150周年記念式典を開催します。

横浜市全体で記念式典を開催するため、2009年の開催にむけ、企画・運営の主体として、市民・企業・行政等の代表による実行委員会を設置し、現在、準備を進めています。

日 程 : 2009（平成21）年5月31日（日）

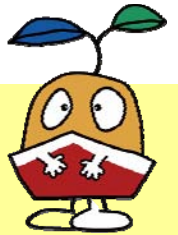
場 所 : パシフィコ横浜 国立大ホール

構 成 : 1部式典、2部オリジナルショーの2部構成

招待者 : 市民、開港5か国、開港5都市、姉妹・友好都市の代表者など（予定）

★ショーには、市民の皆さんも出演していただく予定です。出演や募集の内容など、詳細については、今回のアンケートをもとにシナリオを制作後、改めてお知らせします。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位



横浜開港150周年  
記念事業マスコットキャラクター  
たねまる

## 横浜開港150周年記念式典市民アンケートに 多数のご意見をお寄せいただきありがとうございました。

「横浜開港150周年記念式典市民アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。  
お寄せいただいたご意見は、記念式典プロデューサーの宮本亜門氏の手元に届け、  
2009年の横浜開港150周年記念式典で上演するオリジナルショーの創作に活かして  
いきます。

### 回答総数：12,710件

#### ■アンケート募集期間

平成20年2月1日（金）～3月24日（月）

#### ■アンケート内容

横浜のイメージや、横浜にちなんだ歌、エピソードなど

#### ■アンケート募集方法

○150周年記念事業マスコットキャラクターたねまると共に回答を呼びかけるPRキャンペーン  
日産スタジアム、横浜スタジアム等での大規模イベント、主要駅や地域の大規模商業施設

○市内学校との連携により授業等で紹介

○ホームページ、メール

式典実行委員会や関係機関等のホームページ

FMヨコハマでの特別キャンペーンと連携したメールアンケート

○回答はがき付リーフレットの配布

市役所、区役所、市内公共施設、市内鉄道駅等

各区の集客イベントや地域の会議、市民団体の会合等

#### ■今後の流れ

アンケート等をもとに宮本亜門氏がシナリオを制作し、出演者などを募集していきます。



宮本亜門  
プロデューサー



各項目の主な回答などアンケート内容のくわしい結果につきましては、集計の上、  
後日発表いたします。



記 者 発 表 資 料  
平 成 2 0 年 2 月 5 日  
財 団 法 人 横 浜 開 港 1 5 0 周 年 協 会  
誘 致 調 整 部 長 高 倉 亨 TEL222-1575

## 横浜開港150周年記念テーマイベント 「開国・開港Y150」 入場券販売管理センターの体制が決定しました

2009年に迎える横浜開港150周年記念事業テーマイベント「開国・開港Y150」(わいひゃくごじゅう)における入場券販売や出札窓口業務を委託する事業者を選定するために公募型プロポーザルを実施し、下記の通りJTB首都圏を主幹事とした入場券販売管理センターの体制が決定いたしました。

### <入場券販売管理センター構成会社>

株式会社JTB首都圏(主幹事)

株式会社ジェイコム

近畿日本ツーリスト株式会社

株式会社日本旅行

相鉄観光株式会社

京急観光株式会社

### <入場券販売管理センター設置期間>

平成20年1月から平成21年11月まで



記者発表資料  
平成20年3月7日  
財団法人横浜開港150周年協会  
交通対策部長 小野 勉

## 横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」

### 「交通対策計画策定及び運營業務」委託事業者を選定しました

財団法人横浜開港150周年協会は、2009(平成21)年に開催される横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」の「交通対策計画策定及び運營業務」の委託事業者を、TSP太陽株式会社に決定しました。

#### 1 本業務を委託する背景

2009年4月より開催される横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」については有料入場者数を約500万人と想定しており、交通対策は、早急に解決すべき課題です。

#### 2 本業務を委託する目的

交通対策計画の策定及び運營業務を適切に行い、観客の安全性等を確保しながらイベントを実施します。

#### 3 委託事業者の選定理由

過去に同様な業務実績を有するとともに、十分な企画力、実行力を兼ね備えているものと評価しました。

#### 4 委託事業の概要

原則として平成21年度まで交通量調査、実施計画及び運営計画の策定や運営管理等の各種業務を行っていただきます。

#### <TSP太陽株式会社について>

- 1 代表者 代表取締役社長 河野 康之
- 2 所在地 東京都目黒区東山1-17-16
- 3 設立 1955年2月1日
- 4 資本金 435,375千円

※ 評価結果についての詳細は、  
協会ホームページをご覧ください。  
(<http://www.yokohama150.org/>)



<本件に関するお問い合わせ先>  
財団法人横浜開港150周年協会  
交通対策部 交通対策課長 岩山  
TEL045-222-1561

記者発表資料  
平成20年3月7日  
財団法人横浜開港150周年協会  
誘致企画部長 桑垣 寛  
電話 045-222-1575

**横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」  
「入場券管理システムの構築・運用・保守及び入場券製作業務」  
の委託事業者を選定しました。**

財団法人横浜開港150周年協会は、2009（平成21）年に開催される横浜開港150周年テーマイベントの「入場管理システムの構築・運用・保守及び入場券製作業務」の委託事業者を凸版印刷株式会社に決定しました。

- 1 本業務を委託する目的  
テーマイベントにおいて来場者が円滑な入場を行うための入場システムの構築・運用・保守及び入場券製作の業務を委託するものです。
- 2 委託事業者の選定理由  
プロポーザル参加者は、株式会社日立製作所横浜支社と凸版印刷株式会社の2者となりました。両者の企画提案内容は、それぞれの会社の特色及び実績を生かし、スムーズで安全な入場システムを提案していただきました。  
その中で、イベントの内容に合わせた推進体制と入場券製作における環境対策への取り組みを提案した点を評価し、凸版印刷株式会社を選定しました。
- 3 委託事業の概要  
入場券システムの構築・運用・保守業務  
入場券のデザイン提案・作成・印刷業務・その他

<凸版印刷株式会社について>

- 1 代表者 代表取締役社長 足立直樹
- 2 所在地 東京都千代田区神田和泉町1番地
- 3 設立 1900年
- 4 資本金 104,986(百万円)

※ 評価結果についての詳細は、  
協会ホームページをご覧ください。  
(<http://www.yokohama150.org/>)



<本件に関するお問い合わせ先>  
財団法人横浜開港150周年協会  
誘致企画部長 桑垣  
TEL045-222-1575

横浜市記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
平成20年3月21日  
財団法人横浜開港150周年協会  
総務部担当部長 高橋  
電話 045-222-1535

## 横浜開港150周年協会ライセンス管理運営業務の 委託事業者が決定しました

財団法人横浜開港150周年協会は、本協会のライセンス(マスコットキャラクターおよびロゴマーク等)管理および運営業務の委託事業者を伊藤忠商事株式会社に決定しました。

### 1 本業務を委託する背景

- ① ライセンスを一元管理し、運営する手法が、ライセンスの普及を促進し、横浜開港150周年記念事業の盛り上げの一助となるという期待が持てること。
- ② 2009年の横浜開港150周年が近づくにつれ、本協会ライセンスの使用申請が、著しく増加することが予測されること。

### 2 本業務を委託する目的

- ① ライセンスを広く浸透させることにより、横浜開港150周年を認知してもらい、横浜開港150周年記念事業を盛り上げるため。
- ② ライセンスの管理および運営を適切に行い、ライセンス使用者の満足度を向上させるため。

### 3 委託事業者の選定理由

次の点を重視して選定しました。

- ① 過去の同様な業務の実績
- ② ライセンスの情報管理

以上の結果、伊藤忠商事株式会社に決定しました。

### 4 委託事業の概要

本協会のライセンスの管理および運営を伊藤忠商事株式会社が一元管理し、本協会の広報とも連携することにより効果的にライセンスを普及させ、横浜開港150周年記念事業の盛り上げを図るとともに、地元企業とも協調しながらライセンス商品の販売を行い、地域産業の活性化に貢献してまいります。

### 5 ライセンスのご利用について

ライセンスの使用申請の方法等は4月1日に開設します「横浜開港150周年マスターライセンスオフィス」の専用ホームページ (URL: <http://www.tanemaru.com>) に記載いたします。

<財団法人横浜開港150周年協会について>

- 1 代表者 会長 佐々木謙二
- 2 所在地 神奈川県横浜市中区新港1-6-3
- 3 設立 平成19年2月27日
- 4 基本財産 32,000千円

<伊藤忠商事株式会社について>

- 1 代表者 取締役社長 小林栄三
- 2 所在地 東京都港区北青山2-5-1
- 3 設立 昭和24年12月1日
- 4 資本金 202,241,000千円



<ライセンスに関するお問い合わせ先>

伊藤忠商事株式会社  
広報部 報道チーム 担当: 竹内 TEL:03-3497-7292  
横浜開港150周年マスターライセンスオフィス  
担当: 高山 TEL:045-222-1535 PHS:070-6438-5992

(※当面は上記PHSに御連絡下さい)



# 「開国・開港Y150」いよいよ開幕1年前！

## ～6/2入場券販売開始&開幕1年前WEEK開催～

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」が開幕1年前を迎え、入場券を6/2（月）から販売します。今回、これに合わせて会場構成の検討状況をお伝えします。

また、GW期間中に「開幕1年前WEEK」を開催します。

### 1. 入場券販売 6月2日(月)開始 (資料1)

- ◆ Y150の入場券販売が本年6月2日(月)の開港記念日からスタート！ベイサイドエリア・ヒルサイドエリアそれぞれの楽しみ方に合わせた、多彩な券種をご用意しました。第1期前売入場券(ベイサイド)は、期間中の当日売りより大幅に割引し、たいへんオトクな設定としたほか、第1期前売期間中のみ「ベイ・ヒルセット入場券」も販売します。販売箇所は、旅行代理店、コンビニエンスストアなど市内各所で一斉に販売します。

### 2. Y150会場構成 (資料2)

- ◆ Y150ベイサイドエリアが、イベント来場者の満足度向上と開催時の安心・安全をさらに徹底し、会場を拡大して新たに新港地区7街区、山下公園などへも広がります。これによりマザーポートエリアとの連携を深めていくほか、魅力的な夜景シーンの創出など、横浜ならではのイベントとしてパワーアップします。

### 3. Y150開幕1年前WEEK開催 (取材ご案内 資料3)

- ◆ Y150開幕1年前を記念して、4月26日(土)から5月6日(火・祝)のゴールデンウィーク期間中、桜木町駅前、日本丸、上大岡など市内各所にマスコットキャラクター「たねまる」が登場して開幕1年前を盛り上げます。
- ◆ さらに横浜ジャックモール、桜木町駅前では日比野克彦アートプロデューサーの監修のもと「FUNE(船)」プロジェクトのワークショップを開催し、実際にダンボールで「FUNE」をつくります。
- ◆ またキャラクター「たねまる」ぬいぐるみや、Tシャツなど、さまざまなグッズの販売を正式販売に先駆けて1年前WEEK期間中、市内数か所で販売します。たねまるにふれあうチャンスです！

# 「Y150」入場券6月2日前売スタート！

## 第1期前売入場券（ベイサイド）大人1,800円 （当日売り（2,400円）より“25%割引”）

- ◆ 6月2日(月)Y150の入場券がいよいよ発売されます。任意の1日に入場可能な「普通入場券」をベイサイドエリア、ヒルサイドエリアの会場別に設定しました。
- ◆ 普通入場券は、第1期前売でベイサイド(大人)1,800円(Y150期間中当日売り2,400円)とたいへんオトクな設定です。(ヒルサイドは前売りはいたしません)
- ◆ また、Y150期間中いつでも入場可能な「ベイサイド全期間入場券」や、第1期前売期間中のみ販売する「ベイ・ヒルセット入場券」も販売します。
- ◆ 特にベイ・ヒルセット入場券(第1期前売期間中のみ販売)は、当日売りではベイサイド・ヒルサイド個別にお求めいただく入場券をセットにし、さらに大幅な割引(合計料金3,000円⇒セット料金2,200円)をした入場券です。
- ◆ 販売箇所は、旅行会社、コンビニエンスストア、プレイガイドなど市内各所で一斉に発売されます。
- ◆ 入場券の提示で商業施設や博物館の割引など、お得なサービスが受けられる予定です。  
※現在詳細について検討中です

### 【主な入場券の種類、価格】(全体表は別紙をご覧ください)

入場券種類	区分	料 金(円)	
		第1期前売	当日券
ベイサイド普通入場券	大 人	1,800	2,400
	中 人(高校生)	900	1,200
	小 人(小・中学生)	600	800
	シニア(65歳以上)	1,400	1,900
ベイサイド全期間入場券	大 人	10,000	10,000
ベイ・ヒルセット入場券 【参考】ベイ・ヒル当日券 合計価格3,000円	大 人	2,200	
【参考】ヒルサイド普通入場券 ※第1期前売はいたしません	大 人		600

※第1期前売期間:

2008年 6月2日(月)～2008年11月30日(日)

発信元・問い合わせ先  
財団法人横浜開港150周年協会  
誘致部 桑垣(くわがき)  
TEL222-1571

# ◆ ベイ・ヒルセット券(大人)

<ベイサイドエリア>

000 0000000 0 0

**Y150**  
開国・開港  
横浜開港150周年記念テーマイベント

**ベイサイド BAYSIDE**

**セット 入場券 大人**  
Admission Tickets ADULT

【会 期】2009年4月28日(火)~2009年9月27日(日)  
【開催場所】みなとみらい21新港地区周辺  
【主 催】財団法人 横浜開港150周年協会

たねまる ©Y150  
4.28(火)

Barcode

<ヒルサイドエリア>

000 0000000 0 0

**Y150**  
開国・開港  
横浜開港150周年記念テーマイベント

**ヒルサイド HILLSIDE**

**セット 入場券 大人**  
Admission Tickets ADULT

【会 期】2009年7月4日(土)~2009年9月27日(日)  
【開催場所】ズーラシア隣接地区  
【主 催】財団法人 横浜開港150周年協会

たねまる ©Y150  
7.4(土)

Barcode

よこはま動物園ズーラシア  
入場割引券  
(20%割引)

入園のご案内  
開園時間  
9:30~16:30 入園は16:00まで  
休 園 日  
毎週火曜日(祝日の場合は翌日休園)  
12/29~1/1  
ご 注 意  
団体受付にご提出ください。  
※駐車料金の割引はございません。  
※他の割引との併用はできません。

**大人**  
有効期間  
2009:7/4~12/28

## ■入場券の種類、区分、入場料金

(資料1別紙)

※網かけ部分が第1期前売入場券

入場券の種類	区分	料 金(円)			備 考
		第1期前売	第2期前売	当日券	
ベイサイド普通入場券	大 人	1,800	2,200	2,400	ベイサイドエリア1日フリーパス券
	中 人(高校生)	900	1,100	1,200	
	小 人(小・中学生)	600	700	800	
	シニア(65歳以上)	1,400	1,700	1,900	
ベイ・ヒルセット入場券 (ベイサイド入場券) (ヒルサイド入場券)	大 人	2,200	/	/	第1期限定販売 ズーラシアの20%割引券がついています。
	中 人	1,100			
	小 人	700			
	シニア	1,700			
ベイサイド全期間入場券	大 人	10,000	10,000	10,000	・写真貼り付け本人に限り、開催期間中有効で、 入退場自由 ・シニアの適用範囲については、開催期間終了日 までに65歳以上の者
	中 人	5,000	5,000	5,000	
	小 人	3,300	3,300	3,300	
	シニア	8,000	8,000	8,000	
ベイサイド特別割引入場券	大 人	1,200	1,200	1,200	・身体障害者手帳、療育手帳等を所持する方 及びその介護者2名
	中 人	600	600	600	
	小 人	400	400	400	
	シニア	1,000	1,000	1,000	
ヒルサイド普通入場券	大 人	/	/	600	ズーラシアの20%割引券がついています。
	中 人			300	
	小 人			200	
	シニア			500	
ベイサイド夜間割引入場券	大 人	/	/	1,200	・18時以降入場可 ・入場券販売開始時間:16時～
	中 人			600	
	小 人			400	
	シニア			1,000	
ヒルサイド全期間入場券	大 人	/	/	2,500	・写真貼り付け本人に限り、開催期間中有効で、 入退場自由 ・シニアの適用範囲については、開催期間終了日 までに65歳以上の者
	中 人			1,250	
	小 人			800	
	シニア			2,000	
ヒルサイド特別割引入場券	大 人	/	/	300	・身体障害者手帳、療育手帳等を所持する方 及びその介護者2名
	中 人			150	
	小 人			100	
	シニア			250	
ベイサイド回数割引入場券 (1冊6枚)	大 人	/	/	13,500	・6枚つづりセット券 ・ベイサイド販売期間:2009/4/28～9/18 ・ヒルサイド販売期間:2009/7/4～9/18 ・特定日は適用しない 5月2日(土)～5月6(水) 8月8日(土)～8月16(日) 9月19日(土)～9月27日(日)
	中 人			6,900	
	小 人			4,500	
	シニア			10,500	
ヒルサイド回数割引入場券 (1冊6枚)	大 人	/	/	3,300	
	中 人			1,600	
	小 人			1,000	
	シニア			2,700	
ベイサイド学校団体割引入場券	高 校 生	/	/	600	・教育活動として教職員が引率する生徒・児童 で構成する団体
	小・中学生			400	
ヒルサイド学校団体割引入場券	高 校 生	/	/	150	
	小・中学生			100	
ズー割引入場券	大 人	/	/	500	・ズーラシア入園者を対象とした割引券
	中 人			250	
	小 人			150	
	シニア			400	

### ●入場券販売期間

第 1 期 前 売 2008年 6月 2日(月)～2008年11月30日(日)  
 第 2 期 前 売 2008年12月 1日(月)～2009年 4月27日(月)  
 ベイサイドエリア開催期 2009年 4月28日(火)～2009年 9月27日(日)  
 ヒルサイドエリア開催期 2009年 7月 4日(土)～2009年 9月27日(日)

### ●入場券販売箇所

旅行会社、コンビニエンスストア、プレイガイド、鉄道会社、流通業などで販売予定。  
 詳細については、今後協会ホームページなどで公開します。

### ●当日の入退場について

ベイサイド券:任意の1日入退場自由  
 ヒルサイド券:任意の1日1回のみ入場可  
 全期間:開催期間中有効で、入退場自由



## Y150の会場構成を見直し

Y150の会場のうち、ベイサイドエリアの会場構成について、お客様の満足度向上および安心、安全の観点から見直しを行い、会場の増加を含む構成が決定。よりパワーアップした内容となりました。

### 1.ベイサイドエリア

- ◆ 新港地区から山下公園一带の「ベイサイドエリア」は、メインとなる3つの有料入場施設と5つの周遊会場で構成。有料入場施設は、新港地区に近接して3施設が設置され、また周遊会場として、赤レンガ倉庫から山下公園にかけて、5つの会場が設けられます。

※周遊会場は今後拡大する可能性があります。

- ◆ 今回、新たに新港地区7街区および山下公園を会場として設定し、エリアを拡大しました。
- ◆ 来場者は、横浜ならではの海と港、歴史的建造物などの景観を楽しみながら、有料入場施設と周遊会場を自由に回遊し、体験型展示、大型シアター、催事、夜間演出などを、多彩に楽しむことができる会場構成となっています。

### 2.ヒルサイドエリア

- ◆ ズーラシア(旭区)に隣接する「ヒルサイドエリア」の有料入場施設では、自然あふれる会場で市民自らが企画出展する「市民創発プログラム」が展開され、さまざまな参加体験プログラムが用意されます。

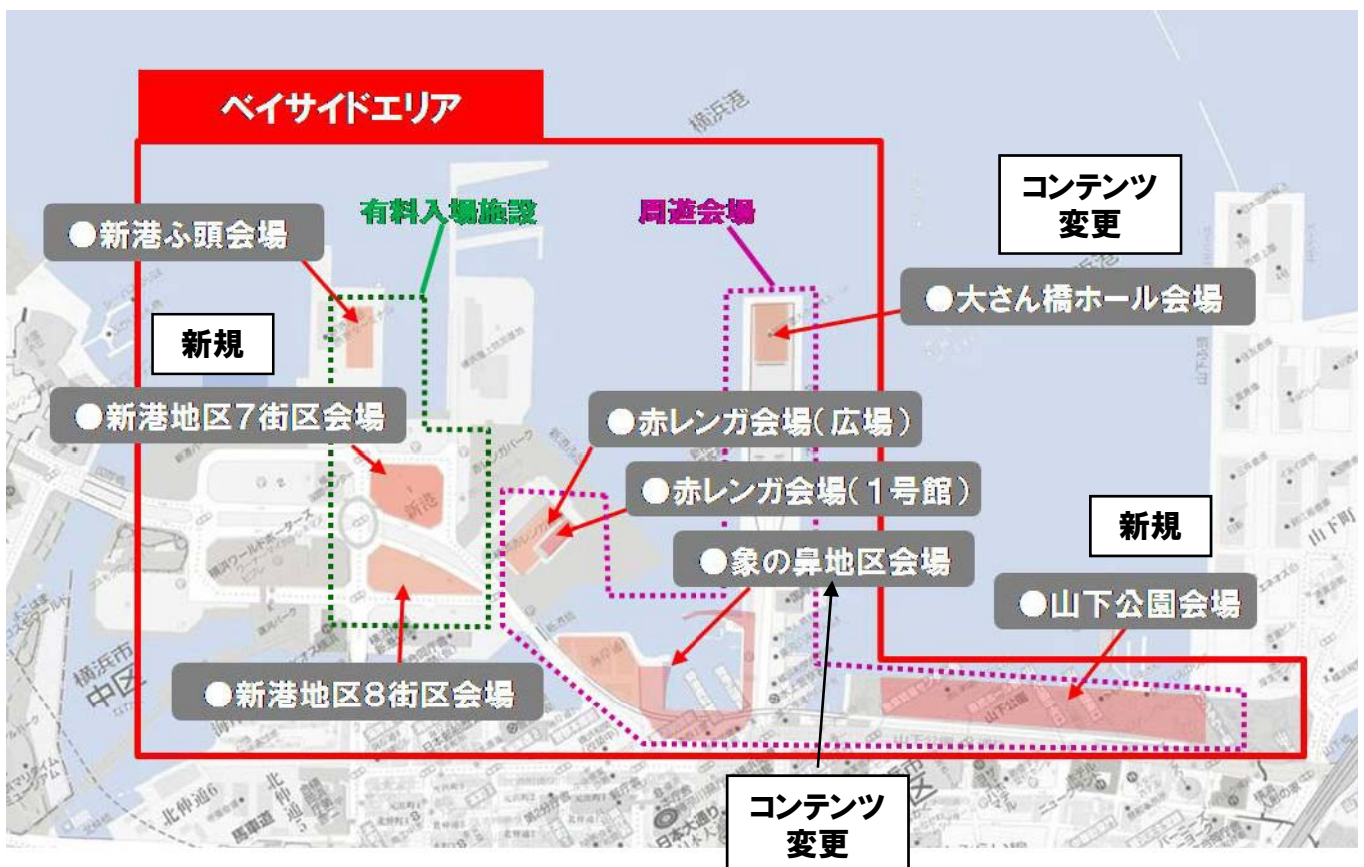
発信元・問い合わせ先  
財団法人横浜開港150周年協会  
広報・宣伝部 有吉・山口  
TEL222-1508

## ■全体エリアマップ



## ■ベイサイドエリアマップ

※会場名称は仮称です



# ■Y150会場構成（予定）

	会場（仮称）	コンテンツ展開概要	備考
新規	【新港地区8街区会場】 Y150はじまりの森 ～横浜の歴史・創造都市横浜～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜ものがたり～横浜150年の歩み～ ・横浜150年史の大型シアター、歴史体験型展示</li> <li>●創造都市ネットワーク ・世界的アーティストによる作品展示とパフォーマンス</li> <li>●テーマレストラン ・オリジナルの開国・開港当時のメニューなども提供</li> </ul>	有料 入場 施設
	【新港地区7街区会場】 Y150エンターテインメントゾーン ～未来の横浜の創造と地球との共生メッセージ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Y150未来シアター ・岩井俊二プロデュース作品の大型映像シアター</li> <li>●屋外催事ステージ ・記念ライブ、レギュラーイベント（日中、夜間）など</li> </ul>	
	【新港ふ頭会場】 YOKOHAMAクリエイティブキッズ ～子供たちとを感じる未来と創造力～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スーパーハイビジョンシアター ・世界最精細の大型映像シアター</li> <li>●企業パビリオン ・子どもたちの創造性を刺激し育んでいくコンテンツなど</li> </ul>	
ベイサイドエリア 変更	【赤レンガ会場】 開国・開港の街 ～バザールと都市交流～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際交流バザール ・国際色豊かな各種バザール</li> <li>●プレゼンテーション&amp;イベント ・友好姉妹都市、開港5都市、企業等の展示や催事</li> <li>●オフィシャルショップ</li> </ul>	周遊 会場
	【象の鼻地区会場】 Y150アートパーク ～アーティスティックな快適オープン空間～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「たね・ふね・灯台」をテーマとしたアートワーク ・日比野アートプロデューサー企画監修、横浜若手アーティスト参加によるアートワーク</li> <li>●トリックアート ・黒船をモチーフにしたリアルスケールのトリックアート</li> </ul>	
	【大さん橋ホール会場】 【赤レンガ会場（1号館）】 市民参加ステージ ～ベイサイドの市民参加、ふれあい交流イベント～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜FUNESプロジェクト ・FUNESの制作ワークショップと展示</li> <li>●区民デー／テーマ型市民催事 ・市内18区による区毎のステージ等イベント ・市民参加プラットフォームによるテーマ型イベント</li> </ul>	
新規	【山下公園会場】 Y150地域交流ステージ ～海、船、地域との交流イベントゾーン～ （海上イベントエリア）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●黒船来港スペシャルイベント ・外輪型蒸気帆船来港記念イベント</li> <li>●日本郵船氷川丸連携事業（検討中）</li> </ul>	

※会場名およびコンテンツ展開概要は4月17日段階のものであり、今後検討の進捗により変更する場合があります。

## ■ ベイスайдエリア 新設会場（イメージ）



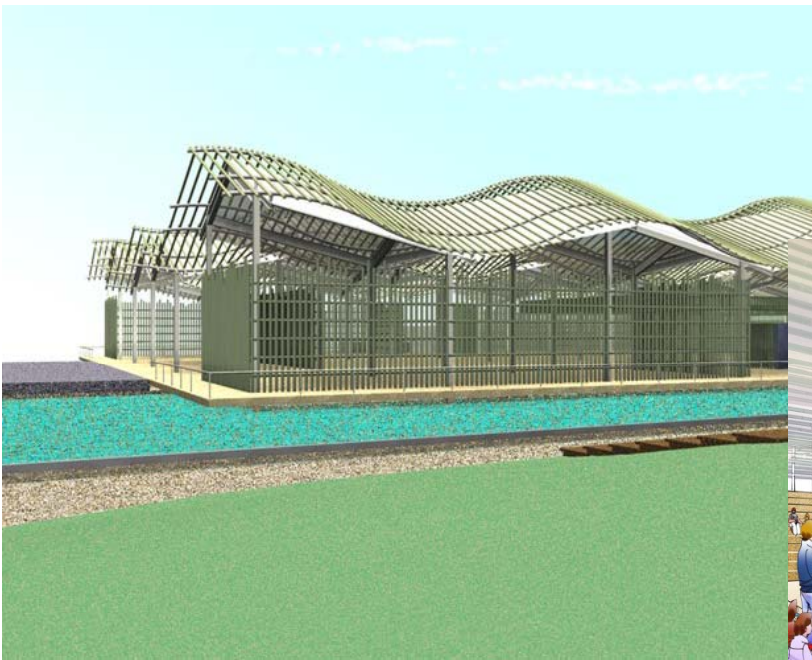
▲新港地区7街区会場(仮称)Y150エンターテイメントゾーン



▲山下公園会場(仮称)  
Y150地域交流ステージに来航する黒船(イメージ)

## ■ヒルサイドエリア

会場（仮称）		コンテンツ展開概要	備考
ヒルサイド エリア	<p>【ヒルサイド会場】</p> <p>市民力の“たね”に出会う 交流イベントゾーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野外広場 “自然とのふれあい”               <ul style="list-style-type: none"> <li>・水／丘／土の広場（展示・イベントスペース）</li> </ul> </li> <li>● 竹の海原スペース</li> <li>● テーマコンテンツスペース               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民力を色々なカタチにしていく場 （創発ギャラリー・創発劇場（いずれも仮称））</li> </ul> </li> </ul>	有料 入場 施設



▲竹の海原スペース（イメージ）



▲市民創発発表（イメージ）

「私からはじめる  
これからの150年」  
をテーマに、  
市民が創り上げた  
多様な出展内容が  
大集合！

## ■マザーポートエリア

マザー ポート エリア	<p>コミュニティ連携</p> <p>～母なる港「横浜」の 町との交流～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Y150への地域の参加と連携</li> <li>● Y150と地域の回遊促進とイベント連携</li> <li>● 市民参加による回遊ルートマップ</li> <li>● 街・企業・市民の参加とこれからの活動を通じた Y150のプロモーション</li> </ul> <p>など、今後地域との連携を図りながら検討を進めます。</p>	連携 会場
-------------------	--	--	----------

# 「Y150」開幕1年前WEEK開催（4/26～5/6）

- ① 「たねまる」花絵 桜木町駅前に登場！
- ② 「たねまるキャラバン」が市内各所に登場します
- ③ 「たねまる&Y150グッズ」を期間限定販売します ほか

## ◆「たねまる」花絵(桜木町駅前) 4月26日(土)～4月29日(火・祝)

- 球根育成のため捨てられてしまうチューリップの花を使って、7.3m×7.3mもある大きな「たねまる花絵」を描く展示イベントです。
- 初日の4月26日には、横浜と同じ開港5都市のひとつである新潟市民と横浜市民が共同で制作に取り組みます。
- 当イベントは、(財)新潟観光コンベンション協会が横浜市内各所で行う「にいがた花ジャックin YOKOHAMA」の一環です。

※26日は、午後2時から制作を行います。(荒天の場合は翌日に順延)

## ◆キャラバンイベントの開催

- マスコットキャラクター「たねまる」が登場する楽しいキャラバンイベントを横浜市内各所で開催します。たねまるにふれあうチャンス！
- 2009年にY150テーマイベントを開催するベイサイドエリア、マザーポートエリアのほか、横浜市北部、西部にも登場する予定です。

### 【1年前WEEK開催日・会場】

月	日	曜日	場所
4	26	土	横浜ジャックモール(FUNEプロジェクトワークショップ会場)
	28	月	桜木町駅前広場、横浜赤レンガ倉庫イベント広場
	29	火・祝	日本丸メモリアルパーク ※当日は日本丸総帆展帆実施
5	1	木	横浜赤レンガ倉庫イベント広場

このほか、シーサイドライン各駅、ダイエー港南台店 ほかでも登場予定(日時・会場は調整中)

### 【Y150開幕1年前WEEK開催期間】

2008年 4月26日(土)～2008年5月6日(火・祝)

発信元・問い合わせ先  
財団法人横浜開港150周年協会  
広報・宣伝部 有吉(ありよし)  
TEL222-1508

# 「Y150」開幕1年前WEEK開催

## ◆ 第56回ザよこはまパレード(国際仮装行列)参加 5月3日(土・祝)

- 主催者(神奈川県・横浜市・横浜商工会議所)フロートに「たねまる」が登場して、パレードをおおいに盛り上げます。お楽しみに！

## ◆ 横浜FUNEプロジェクト・ワークショップ開催 4月26日(土)～29日(火・祝)

- 2009年の横浜開港150周年に向けて、ダンボールなどの素材を使って横浜にゆかりのある「FUNE(船)」「クイーン・エリザベスⅡほか」を創りながら親子や子ども同士の交流を図ります。

会場：横浜ジャックモール 4月26日(土)・27日(日)

桜木町駅前広場 4月28日(月)・29日(火・祝) 各日 10:00～16:00



## ◆ たねまる & Y150グッズ期間限定販売

- 「たねまる」のキャラクターデザインをあしらった「Y150」開幕1年前記念のカウンタダウン・ピンズバッジや Tシャツ、ぬいぐるみ、文房具、など様々なオフィシャルグッズが「Y150」開幕1年前WEEK の開催期間中、限定販売します。この機会にぜひマスコットキャラクター「たねまる」を皆様のお手元に！

「たねまる」に直接ふれあうチャンスです！

販売日	販売時間	販売場所
4/28(月)～29(火・祝)	10:00～18:00	JR桜木町駅構内
4/28(月)～5/1(木)	11:00～18:00	横浜赤レンガ倉庫広場
4/29(火・祝)	10:00～16:30	日本丸メモリアルパーク
5/3(土・祝)	10:00～17:00	横浜赤レンガ倉庫広場



グッズ販売関連問い合わせ先  
横浜開港150周年マスターライセンスオフィス  
高山 TEL 222-1535  
PHS 070-6438-5992

横浜市記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位



記者発表資料  
平成20年4月24日  
開港150周年・創造都市事業本部  
150周年記念事業推進課長  
田丸 祐一 TEL 671-4248

## センター南駅改札前

# 開港150周年ビジョン運用開始

## 110インチ世界最大級フルハイビジョンテレビを 日本ビクター（株）が提供

この度、日本ビクター株式会社のご好意により、開港150周年をPRする媒体として、世界最大級の110インチ大型フルハイビジョンテレビを無償で貸与していただきました。

当ビジョンは、グリーンライン開通で注目の高まる横浜市営地下鉄センター南駅改札前に設置し、開港150周年のPRを行うとともに、積極的に施設・企業等の広告を募集し、運用してまいります。

### 開港150周年ビジョンの概要

- ◆ **運営期間** 平成22年3月31日まで
- ◆ **放映時間** 7:00~23:00
- ◆ **設置場所** 横浜市営地下鉄  
センター南駅改札前
- ◆ **コンテンツ** 開港150周年をPRする映像のほか  
横浜情報、施設・企業広告等
- ◆ **ビジョン仕様** 世界最大級110インチ  
D-ILAフルハイビジョンプロジェクションテレビ  
画面寸法  
幅243.8mm×高さ137.2mm×対角279.4mm



#### ◆ ビジョン提供会社概要

日本ビクター株式会社（代表取締役社長 佐藤 国彦）  
本社所在地：〒221-8528

横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

創 立：昭和2年9月13日

事業内容：オーディオ、ビジュアル関連の民生用・  
業務用機器の研究・開発、製造、販売。

※ 同社には世界最大の市民ビデオ映像祭「TVF」の開催など、  
開港150周年記念事業にご協力いただいております。



#### ◆ ビジョンご利用について(詳細は別紙参照)

放映料金： ¥30,000.- / 2週間

放映回数： 32回 / 1日

運営会社： 株式会社 tvkコミュニケーションズ  
TEL 045-662-7557 FAX 045-681-5277  
〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 MBC 5F

URL：  
<http://www.tvk-coms.co.jp/150vision>

**イベント告知・企業広告・店舗広告  
などにぜひご活用ください。**



©Y150  
たねまる







横濱開港150周年

広告ビジョン

コンテンツ募集!!



センター南駅改札前に

110インチ

大型ビジョン放映開始!!  
フルハイビジョン映像に対応!!

CM放映料金 ¥30,000~/2週間

企業広告・店舗情報・イベント告知などにご活用ください!

放映時間 7:00~23:00

放映回数 32回/1日

お問い合わせ・広告お申し込み

株式会社 tvk コミュニケーションズ  
〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 MBC 5F  
TEL:045-662-7557 / FAX:045-681-5277  
<http://www.tvk-coms.co.jp/>



## 横浜市営地下鉄グリーンライン・ブルーライン センター南駅改札前に大型ビジョンを設置!!



- 110インチの大型ビジョン放映
- フルハイビジョン映像に対応



### お申し込みにあたり

- 表記の金額は消費税抜きのものです。
- CM枠は1枠30秒です。
- 素材:DVカム・βカム・DVD-R 著作権・肖像権についての権利処理が完了しているもの。
- 価格は予告無く変更する場合がございます。
- CM制作も特別価格にて承ります。詳しくは営業部までお問い合わせ下さい。

### 放映基準

下記のいずれかに該当するコンテンツ(内容)は放映することができません。

1. 公序良俗に反すると認められるもの
2. 児童・青少年の人格の形成や習慣に悪影響を及ぼす恐れのあるもの(酒・タバコ等)
3. 風俗営業(パチンコ・麻雀・キャバレー等)や権利関係・取引等の実態が明らかでないもの
4. 消費者金融・タバコ・ギャンブル等広告
5. 医療・医薬品・化粧品等の広告で、医師法・薬事法等に触れる恐れのあるもの  
その他、法令等により放映を禁止されているもの
6. 著作権を侵害する恐れのあるもの
7. 著しく誇張のある内容または不快、不健全な内容と認められるもの
8. 特定の政治または宗教に関するものや、特殊な結社団体等に関するもの  
その他、(株)tvkコミュニケーションズ及び横浜市が不適当と認めたもの

### 横浜開港150周年事業とは?

1859年7月1日(旧暦安政6年6月2日)に開港した横浜は、日本と海外との多様な技術・文化等の交流拠点として発展し、日本の近代化を牽引してきました。この開港を記念し、開港50年、開港100年という節目の年には、市歌の制定や記念施設の建設などが行われました。そして、2009年の開港150周年には、横浜市全体が港や先人の業績を振り返るとともに、横浜が夢や希望にあふれる街となるよう、テーマイベント「開国・開港Y150」や横浜港発祥の地である「象の鼻地区の再整備」など様々な記念事業が計画されています。

設置者:横浜市開港150周年・創造都市事業本部 運営管理:株式会社 tvkコミュニケーションズ



記者発表資料  
平成20年1月22日  
開港150周年・創造都市事業本部  
戦略的事業誘致課担当課長  
林下幸造 671-4346

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

**アフリカ開発会議関連事業の紹介**

**緒方貞子氏を迎えて、シンポジウムを開催します！**

**～アフリカ開発会議横浜開催記念シンポジウム～**

第4回アフリカ開発会議を契機に、市民の方々にアフリカへの理解を深めていただくため、アフリカに造詣の深い緒方貞子氏による講演、及びパネルディスカッションを実施します。

**開催概要**

**1 日時**

平成20年3月29日（土）14:00～16:30

**2 場所**

パシフィコ横浜会議センター1階 メインホール  
（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

**3 内容（予定）**

・ **第1部**

緒方貞子氏（JICA 理事長）による講演  
テーマ：「アフリカの開発と日本の役割」

・ **第2部**

パネルディスカッション  
テーマ：「アフリカの発展に貢献する横浜の役割」  
パネリスト：黒川恒男（JICA アフリカ部長）

紺野美沙子（女優、国連開発計画（UNDP）親善大使）  
中田 宏（横浜市長）

**4 事業主体**

(1) 主催

アフリカ開発会議横浜開催推進委員会  
（事務局：横浜市開港150周年・創造都市事業本部  
戦略的事業誘致課）

(2) 共催

横浜市

(3) 後援

外務省（予定）、独立行政法人国際協力機構（JICA）、国連開発計画（UNDP）

(4) 協力

財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）



緒方 貞子  
国際協力機構  
（JICA）理事長  
1991～2000年ま  
で国連難民高等弁  
務官。2003年より  
現職。



紺野 美沙子  
女優。1998年より国連開発  
計画（UNDP）親善大使。

## 参加者募集について

- 1 募集人数  
1,000人（応募者多数の場合は抽選）
- 2 参加費  
無料
- 3 募集締切  
平成20年2月29日（金）必着
- 4 応募方法  
1通で2名まで申込可能
  - (1)官製はがき  
あて先：〒101-8449  
東京都千代田区神田錦町3-24 住友商事神保町ビル  
㈱ICSコンベンションデザイン Y係
  - (2)FAX  
専用FAX番号：03-5283-6567
  - (3)Eメール  
専用メールアドレス：ticad\_yokohama@ics-inc.co.jp
- 5 応募記載事項
  - (1)行事名
  - (2)住所（※）
  - (3)氏名（※）
  - (4)電話番号（※）  
※2名申込の場合は2名分記載
- 6 結果通知  
抽選の有無にかかわらず、3月10日頃、結果を官製はがきにて  
応募者全員に通知します。  
通知はがきは入場券として当日使用します。
- 7 応募に関する問い合わせ先  
㈱ICSコンベンションデザイン Y係  
専用電話：03-3219-3544（平日10:00-12:00、13:00-17:00）  
専用FAX：03-5283-6567  
Eメールアドレス：ticad\_yokohama@ics-inc.co.jp

**※当日、記者席は別途用意します。詳細については別途御案内します。**

※詳細は、推進委員会ホームページで：<http://www.yokohama2008ticad.com/>

※チラシは、2月1日より各区役所広報相談係にて配布します。

2008. 5. 28(wed) — 30(fri)





記者発表資料  
 平成20年3月5日  
 開港150周年・創造都市事業本部  
 戦略的事業誘致課担当課長  
 漆原 順一 671-4344  
 水道局お客様サービス推進部担当課長  
 善住(ぜんじゅう) 貴行 671-3963  
 環境創造局 環境活動事業課長  
 池戸 淳子 671-3830  
 (特)国際連合世界食糧計画WFP協会  
 事業推進・広報マネージャー  
 樋口 厚志 221-2531

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

**アフリカ開発会議関連事業の紹介**



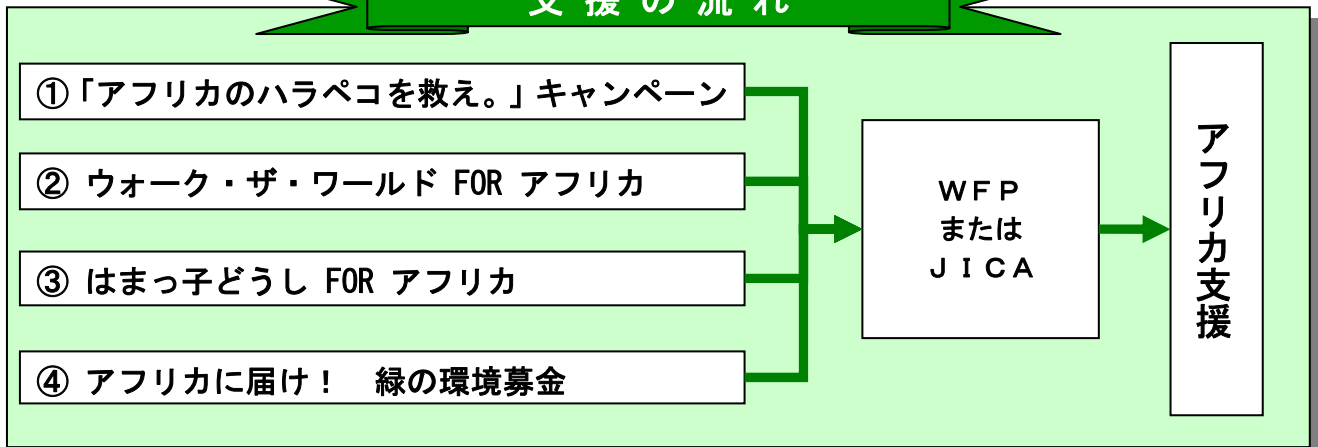
**アフリカ支援キャンペーン**

**「ヨコハマ・フォー・アフリカ」を展開します。**

横浜市では、アフリカ開発会議の開催を契機として、今年5月の「アフリカ月間」を中心に、市民がアフリカのことを知り、考えるきっかけとなるような様々な事業を展開します。

これらの事業により、アフリカを知り、共感していただいた市民一人ひとりが、アフリカの飢餓や栄養不足に苦しむ人々のために、身近なところで直接貢献できる仕組みとして、以下の4つの事業を実施します。これらの事業は、市内に日本事務所のあるWFP国連世界食糧計画や、JICA(独立行政法人 国際協力機構)を通じて、アフリカの学校給食や労働の対価としての食糧支援を通じた植林活動などへの寄附となります。

**支援の流れ**



**① 「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーン【開港150周年・創造都市事業本部】**

主旨に賛同していただいた店舗が、アフリカ支援メニュー(アフリカ料理、アフリカ食材の使用、またはアフリカを支援することを表示した商品等)を提供し、その売上げの一部などを、WFPの学校給食プログラムを活用してアフリカに寄附するものです。引き続き、主旨に賛同し、参加していただける企業、店舗等を募集しています。

**1 期間**

平成20年5月1日～5月31日(店舗によって期間が異なります)

**2 協力していただける店舗等(3月5日現在)**

崎陽軒、TSUTAYA、ハングリータイガー、パン パシフィック 横浜ベイホテル東急、ファミリーマート、ブラスリー・ティーズ・ミュゼ、ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル、横浜ロイヤルパークホテル、レストランテ・アッティモ、レゴスレゴス、ローソン(50音順)

**3 募金の方法**

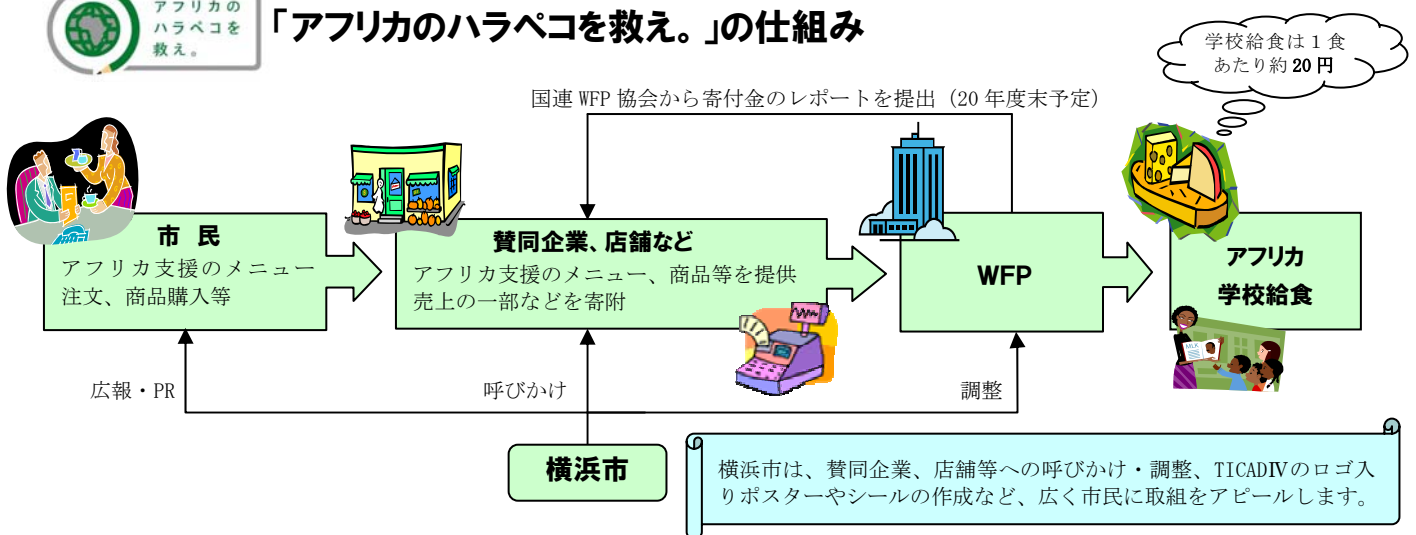
店舗によって、実施時期などが異なります。詳細が決まりましたら順次発表します。



裏面あり



## 「アフリカのハラペコを救え。」の仕組み



## ② ウォーク・ザ・ワールド FOR アフリカ 【WFP】

2004 年から世界規模 (2007 年:93 か国) で開催されているチャリティ・イベント

### 1 内容

世界で 6 月 1 日にスタートするウォーキングの先陣を切って、アフリカでおよそ 2 億人といわれる**飢餓撲滅**のために 5 月 25 日に横浜を歩きます。横浜では 2005 年から開催し 4 回目。今年の横浜では、アフリカ開発会議の開催にあわせて、「FOR アフリカ」として実施。2007 年は全世界で、55 万人以上が参加。大使館関係者やゲスト参加者も予定。

参加費 1000 円 (うち 500 円を WFP 学校給食プログラムに募金)、定員 2000 人

### 2 日時

平成 20 年 5 月 25 日 (日) 開会式 9:30 スタート 10:00

### 3 主催・後援

主催 ウォーク・ザ・ワールド実行委員会 (WFP/国連 WFP 協会)、後援 外務省、横浜市他

### 4 コース

みなとみらい臨港パーク (スタート会場) から 5km、10km の 2 コース

### 5 お問合せ

2008 ウォーク・ザ・ワールド エントリー事務局 0120-711-951 (平日 10:00~17:30)

<http://www.sportsentry.ne.jp/>

## ③ はまっ子どうし FOR アフリカ 【水道局】 別添資料 1 参照

横浜のオフィシャルウォーター「はまっ子どうし」も、「アフリカ開発会議」の横浜開催を記念して「FOR アフリカ」キャンペーンボトルを販売。売上げの一部でアフリカを支援  
期間: 平成 20 年 3 月 20 日~6 月 30 日 (予定)

## ④ アフリカに届け! 緑の環境募金 【環境創造局】 別添資料 2 参照

市立動物園や山手西洋館などでの募金が、アフリカの大地の植林に役立ちます

募金場所: 市立動物園 (3 か所)、山手西洋館 (7 か所)、よこはま花と緑の春フェア会場、俣野公園完成記念式典

期間: 平成 20 年 3 月 26 日 (水) ~6 月 1 日 (日)

主催: 横浜市地球温暖化対策推進協議会、協賛: (財)横浜市緑の協会、後援: 環境創造局

## アフリカ開発会議とは

アフリカや欧米・アジアなど 100 か国近い国々から、1000 人以上が参加する 5 年に 1 度の国際会議。日本政府と国連、世界銀行等が共催し、第 4 回は平成 20 年 5 月 28~30 日に横浜で開催されます。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

【お問い合わせ先】  
水道局 お客さまサービス推進部  
担当課長 善住 貴行  
電話 671-3963

## アフリカ支援キャンペーン

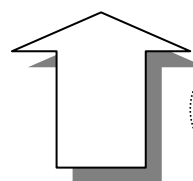


「第4回アフリカ開発会議（TICADIV）」横浜開催記念ボトル発売！  
「はまっ子どうし FOR アフリカ」キャンペーン ボトルの  
売上げの一部（1本あたり約1円）は、アフリカの支援に寄付されます。

水源の環境保全に貢献し、「水のおいしい都市：横浜」を  
アピールする「はまっ子どうし」は、「第4回アフリカ開発  
会議」のPRやアフリカへの市民の関心の高まりと支援に  
向けて、「はまっ子どうし FOR アフリカ」キャンペー  
ンボトルに変わり、市内の取扱い店舗や自動販売機などで販  
売されることになりました。

また、このキャンペーンボトルはお客さまに購入いた  
だいた売上げの一部を、WFP 国連世界食糧計画と JICA（独  
立行政法人 国際協力機構）を通じて、アフリカの学校給食  
などの支援のために寄付します。

このキャンペーンボトルは、アフリカ月間など各種のイ  
ベントにおいても活用され、横浜の「はまっ子どうし」の  
取組みが世界に発信されます。



売上げの一部は  
アフリカの支援に  
寄付されます



はまっ子どうし FOR アフリカ  
キャンペーン ボトル

- ・ 販売予定期間 3月20日（木）から 6月30日（予定）
- ・ 販売予定本数 50万本  
（キャンペーンボトルは500mlボトルのみ）
- ・ 販売箇所 「はまっ子どうし」の取扱い店舗、自動販売機など





横浜市環境創造局 ～かけがえない環境を未来へ～

## 【お問い合わせ先】

環境創造局

総合企画部環境政策課長

古山 諭 TEL671-2686

温暖化対策課担当課長

松田 和久 TEL671-2477

環境活動推進部環境活動事業課長

池戸 淳子 TEL671-3830

横浜市地球温暖化対策推進協議会 会長 中原 秀樹

「ヨコハマ・フォー・アフリカ」アフリカ植林募金キャンペーン

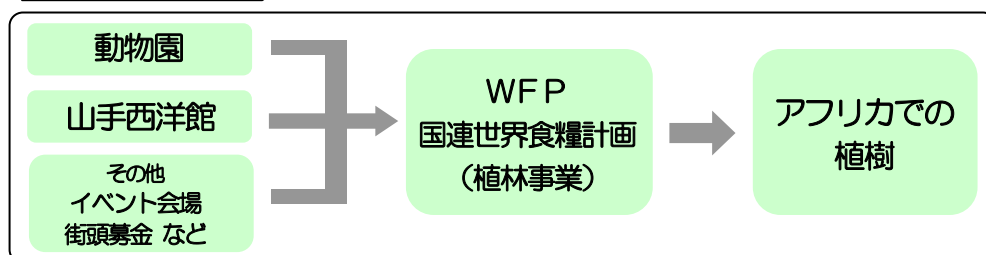
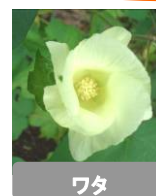
## アフリカに届け！緑の環境募金

募金箱を設置します！

～ みなさまのあたたかいご支援がアフリカの大地の植林に役立ちます ～

アフリカ開発会議に向けた支援の取組みの一環として、横浜市地球温暖化対策推進協議会が植林募金を実施します。いただいた募金は、横浜市地球温暖化対策推進協議会から地球温暖化防止や食糧確保に役立つアフリカの植林活動を実施しているWFP国連世界食糧計画へ寄付されます。

## 募金の流れ

アフリカ原産の種を  
プレゼント！

ワタ



バジル



インパチェンス

## 実施概要

期 間 2008年3月26日(水)～6月1日(日)

募金場所 市立動物園※1、山手西洋館※2、本庁舎内(環境創造局)、  
イベント会場(よこはま花と緑の春フェア※3、俣野公園完成記念式典※4 他)に募金箱を設置

特 典 募金の記念にアフリカが原産となる「植物の種」をさしあげます。

(配布予定数に達し次第、終了いたします。)

(主 催: 横浜市地球温暖化対策推進協議会 協 賛: (財)横浜市緑の協会 後 援: 横浜市環境創造局)

## 参 考

※1 市内動物園(3箇所) よこはま動物園ズーラシア 野毛山動物園 金沢動物園

※2 山手西洋館(7箇所) 横浜市イギリス館 山手111番館 山手234番館  
エリスマン邸 ベーリック・ホール プラフ18番館 外交官の家※3 よこはま花と緑の春フェア 期 間 4月18日(金)～4月20日(日)  
場 所 横浜公園(チューリップまつり)※4 俣野公園完成記念式典 日 時 4月6日(日) 午前9時30分  
場 所 俣野公園レストハウス前  
記念試合 午前10時30分 横浜商業高等学校(Y校) VS 慶應義塾高等学校

## 横浜市地球温暖化対策推進協議会とは

市民・事業者・有識者・NPO・行政により構成された任意団体で、地球温暖化対策の普及啓発を積極的に行っています。

CO-D030 の中では、市民・事業者の知恵を引き出し、協働した行動を活性化させる役割を担う組織として期待されています。



記者発表資料  
 平成20年3月13日  
 開港150周年・創造都市事業本部  
 戦略的事業誘致課担当課長  
 見上 正一 045(671)4347

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

5都市5カ国の祭典、開催までいよいよ3ヶ月！

ポート・タウン・フェスティバル ～開港5都市 出航前夜祭～

2008  
 PortTownFestival

・開港5都市市長会議  
 ・環境／観光市民会議

へご招待

3月15日から  
 市民募集開始

「ポート・タウン・フェスティバル」は安政の5カ国条約締結 150 年を機に、開港5都市(横浜・函館・新潟・神戸・長崎)が、「日本近代化の原点の地」であることを広く発信するとともに、条約締結相手5カ国(米・蘭・露・英・仏)との交流を深めることを目的に開催します。

このイベントの中で、5都市市民が集う「環境市民会議」「観光市民会議」と、5都市の市長が一堂に会し、開港都市の課題などを話し合う「市長会議」を開催いたします。

「環境市民会議・観光市民会議・市長会議」につきまして、それぞれ以下のとおり会議参加者を募集しますので、ぜひご応募ください。

□ 会議概要

	環境市民会議	観光市民会議	5都市市長会議
日時	平成20年6月14日(土) 開場 12:30 開会 13:00	平成20年6月20日(金) 開場 12:30 開会 13:00	平成20年6月21日(土) 開場 12:30 開会 13:00
場所	横浜赤レンガ倉庫1号館3階	横浜市開港記念会館講堂	横浜赤レンガ倉庫1号館3階
募集人員	環境会議と市長会議は300人・観光会議は350人を無料招待		
内容	<p><b>第一部 講演</b></p> <p>・カーボンオフセットの都市づくり</p> <p>講演：            有限責任中間法人            日本カーボンオフセット            代表理事            末吉竹二郎氏</p> <p><b>第二部</b>            パネルディスカッション            ・市民環境行動で創るカーボンオフセットの都市づくり</p>	<p><b>第一部 分科会</b></p> <p>・歴史的資産の生かし方            ・観光客が求めるボランティアガイド            ・バリアフリーガイド(外国人観光者への対応)</p> <p><b>第二部 対談</b></p> <p>・開港都市の観光            「わたしの街の楽しい歩き方」</p> <p>対談：            ・エッセイスト            森まゆみ氏            ・建築写真家            増田彰久氏</p>	<p>5都市市長による            パネルディスカッション            ・市民会議を受けての共同アピール(予定)</p> <p>パネラー：            ・西尾正範 函館市長            ・篠田 昭 新潟市長            ・矢田立郎 神戸市長            ・田上富久 長崎市長            ・中田 宏 横浜市長</p> <p>コーディネーター：            環境ジャーナリスト            村田佳壽子氏</p>

(裏面あり)

□ 申込 4月18日(金) (必着) 締切 (応募者多数の場合は抽選)

- ① 申し込み方法：往復はがき・FAX・Eメールで。
- ② 明記事項：会議名(環境/観光/市長)、住所・氏名・電話番号・応募人数・返信用住所を記入。手話通訳・車いす対応希望者はその旨を記載。
- ③ 宛先：横浜市開港150周年・創造都市事業本部 戦略的事業誘致課  
ポート・タウン・フェスティバル00(会議名を明記) 会議あて

(※各会議ごとに1通の申し込み)

〒231-0015

横浜市中区尾上町1-6 住友生命横浜関内ビル

FAX045-663-9212

申込用Eメールアドレス：

[ts-porttownfes@city.yokohama.jp](mailto:ts-porttownfes@city.yokohama.jp)



会場イメージ

※会議の申し込みについては、3月15日発行の  
 広報よこはま特別号に掲載しています。

※各会議の取材につきましては、当日受付にお立ち寄りください。



《参考》ポート・タウン・フェスティバル概要(会議関係以外)


(1) 開催場所

横浜赤レンガ倉庫1号館及び

赤レンガ倉庫イベント広場(中区新港1-1-1)

(2) 開催内容(予定)



項目	日程	内容
屋内展示	6月14日(土)~22日(日)	5都市と5カ国の展示ブースで、各都市の文化や歴史などを紹介
屋外交流イベント	6月20日(金)~22日(日)	5都市と5カ国に、ちなんだ「もののはじめ展示」や「お国自慢・物産」などを市民や訪れる観光客に楽しく紹介
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・もののはじめ展示や郷土物産観光展</li> <li>・伝統芸能やパフォーマンス披露</li> <li>・5都市高校生プレゼンテーション (郷土の自慢などを高校生の視点や語り口で楽しく紹介)</li> <li>・市民団体による環境エコステーション活動 など</li> </ul>

屋外交流イベントイメージ

ポート・タウン・フェスティバルのお問い合わせ

開港5都市連携事業実行委員会事務局

(横浜市開港150周年・創造都市事業本部 戦略的事業誘致課内)

〒231-0015 横浜市中区尾上町1-6 住友生命横浜関内ビル

電話 045-671-3836 FAX045-663-9212

問い合わせ用Eメールアドレス：[ts-ijigyoyuchi@city.yokohama.jp](mailto:ts-ijigyoyuchi@city.yokohama.jp)





横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
 平成20年 4月15日  
 開港150周年・創造都市事業本部  
 戦略的事業誘致課担当課長  
 林下幸造 671-4346  
 教育委員会事務局小中学校教育課  
 教育改革推進担当課長  
 前川 保 671-4174  
 交通局沿線協働推進担当課長  
 井戸川照男 671-3210



子どもたちの絵でアフリカ色に彩る

市営地下鉄「アフリカ号」が運行します！

アフリカ開発会議関連イベント

横浜市内の市立小・中学校の子どもたちによるアフリカの絵を、市営地下鉄（ブルーライン）はまりん号に掲出して、「アフリカ号」として運行します。このアフリカ号はアフリカ月間中、第4回アフリカ開発会議の横浜開催をPRします。また、アフリカ53か国の「アフリカ検定クイズ」も掲出します。

## 1 概要

- 【運行期間】 4月16日（水）～5月31日（土）  
（アフリカ月間は5月1日～5月31日）
- 【運行ダイヤ】 交通局ホームページはまりん号参照  
[www.city.yokohama.jp/me/koutuu/sub/](http://www.city.yokohama.jp/me/koutuu/sub/)
- 【絵画点数】 530作品  
（期間途中で1回張替え、半数ずつ掲示）
- 【検定クイズ】 53問（アフリカ1国につき1問）



アフリカ検定クイズ

## 2 作品



↓ 中吊りポスター（2種）



↑ 子どもたちの絵





記者発表資料	平成20年4月16日
開港150周年・創造都市事業本部	戦略的事業誘致課
担当課長	林下幸造 671-4346
環境創造局 動物園課長	高橋 稔 671-2607
港湾局 振興事業課長	鈴木寿一 671-2874
水道局 人材開発課長	佐藤千鶴 671-3338
JICA横浜 次長	松本 淳 663-3252

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

### アフリカ開発会議関連事業の紹介



## 横浜市と JICA が連携してアフリカに貢献

平成 20 年度からアフリカ諸国を対象にした技術支援が始まります

横浜市と独立行政法人国際協力機構（JICA）との間で、第4回アフリカ開発会議横浜開催を契機に、横浜市の保有する技術を活用したアフリカへの技術支援を平成 20 年度から実施することについて協議が整いました。

- 動物の飼育繁殖技術(環境創造局)
- 港湾整備・管理運営等(港湾局)
- 水道技術・経営(水道局)

### 1 動物の飼育繁殖技術者研修

実施年度：平成 20 年度から 22 年度まで

期 間：①毎年2週間程度（本市職員派遣）  
②毎年1ヶ月程度（研修員受入）

対 象 者：①本市動物園職員を毎年2～3名、ウガンダ野生生物教育センターへ派遣。

②上記センター職員を毎年2名、本市動物園において受入。

研修内容：飼育繁殖技術及び動物園での教育活動

### 2 港湾技術者研修

実施年度：平成 20 年度から 22 年度まで

期 間：毎年 10 日程度

対 象 者：港湾行政に従事する職員を毎年 10 名程度受入  
（2名×5カ国）

研修内容：港湾施設の整備、管理運営、ウォーターフロント開発等（予定）

### 3 水道技術者研修

実施年度：平成 20 年度から 22 年度まで

期 間：毎年3週間程度

対 象 者：水道事業を行う機関の職員を毎年 10 名程度受入  
（1カ国あたり2名以内）

研修内容：横浜市水道局で、水道技術及び水道経営について研修を実施



記者発表資料  
平成20年4月25日  
開港150周年・創造都市事業本部  
戦略的事業誘致課担当課長  
漆原順一 671-4344

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

**アフリカ開発会議関連事業の紹介**

**「アフリカ月間」いよいよスタート！**

～ 5月の横浜はアフリカ色に染まります ～

第4回アフリカ開発会議が開催される5月、横浜がアフリカ色に染まる「アフリカ月間」が、いよいよスタートします。月間期間中は、アフリカに関連する写真展や講演会、「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーン\*など、多彩なイベントを展開していきます。また、駐日大使やTICAD IV親善大使などが参加して、「アフリカ月間」オープニングセレモニーを4月26日(土)に開催します。

**1 「アフリカ月間」イベント等概要**

見る、聞く、触れる、応援する、食べる。さまざまなアフリカに出会う5月の横浜として、写真展や講演会、「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーンなどを、多彩なイベントを展開します。

**(1) 多彩なイベント** (37 うち本市主催・共催 12、その他 25)

リーフレット(別添)で紹介している多彩なイベント

「見る」16、「聞く」9、「触れる」5、「応援する」3、「食べる」4

**(2) 主なイベント**

アフリカ月間に開催される主なイベント

- ア 「一駅一国」運動(5/1～5/31) 「見る」 ※別添資料参照
- イ アフリカン・フェスタ2008(5/17・18) 「触れる」
- ウ アフリカン・イルミネーション(5/9～5/31) 「見る」

**(3) アフリカを応援する！**

アフリカを応援する取組が、いよいよ本格始動

**ア 「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーン(4/22～5/31)**

・参加団体数 16団体(50音順)

飲食業 7(株式会社崎陽軒、タリーズコーヒージャパン株式会社、株式会社ティーズ、株式会社ハングリータイガー、MMC、三本コーヒージャパン株式会社、横浜ガストロノミ協議会、レゴス レゴス)

ホテル 3(パンパシフィック横浜ベイホテル東急、ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル、横浜ロイヤルパークホテル)

コンビニエンスストア 2(株式会社ファミリーマート、株式会社ローソン)

その他 4(株式会社TSUTAYA、綱島商店街、横浜グリーンウィーク実行委員会、株式会社横浜/八景島)

・参加店舗数 約682店(うち、市外約30店も含む)

・期間 原則、アフリカ月間(5/1～31)に連動しています。

ただし、各団体ごとに異なるため、詳細はリーフレット参照してください。

**裏面あり**

## イ はまっ子どうし for アフリカ (3/20~6/30)

アフリカ開発会議横浜開催を記念してキャンペーンボトルを販売。売上の一部でアフリカを支援します。

## ウ アフリカに届け! 緑の環境基金 (3/26~6/1)

市立動物園、山手西洋館で募金箱を設置し、集まった募金をWFP 国連世界食糧計画へ寄付。募金の記念にアフリカが原産の「植物の種」をプレゼント(配布予定数に達し次第、終了)。

## エ ウォーク・ザ・ワールド FOR アフリカ (5/25 9:30~ みなとみらい臨港パーク~)

元気なアフリカを応援するチャリティーウォーク。参加費 1000 円のうち 500 円を募金。

### (4) リーフレット・ポスター

配架先：市内(一部市外含む) 主要鉄道駅(JR東日本、京急、東急、横浜高速鉄道、市営地下鉄)、  
首都高速道路、「アフリカのハラペコを救え。」賛同団体、区役所、図書館 ほか  
配布部数：リーフレット 200,000部 ポスター 約8,000枚

## 2 オープニングセレモニー概要

「アフリカ月間」オープニングセレモニーを、駐日大使、親善大使等、アフリカ開発会議関係者の参加を得て、次のとおりセレモニーを開催します。

日時：4月26日(土) 10:30-11:00

場所：情文プラザ(情報文化センター1階 中区日本大通11番地)

参加者：野田由美子副市長、駐日タンザニア連合共和国ムタンゴ大使(駐日アフリカ外交団長)、  
鶴田真由氏(TICAD IV親善大使)、アドゴニー・ロロ氏(タレント)、

小田野展丈外務省 TICAD IV担当大使、鳥居元吉財団法人日本新聞教育文化財団専務理事、

大久保雅台オリンパス株式会社取締役専務執行役員、ライブミュージカ「やし酒飲み」出演者 ほか

主な内容：テープカット、ジャンベ演奏

あわせて、神奈川県新聞社・日本新聞博物館主催写真展開会式が行われ、引き続き参加者は同写真展の視察を行います。

※ 取材に来られる場合は、10分前までに情文プラザ報道受付まで腕章を着用しお越しください。

### ※ 「アフリカのハラペコを救え。」キャンペーンとは

「アフリカ月間」のイベントなどにより、アフリカを知り、共感していただいた市民一人ひとりが、アフリカの飢餓や栄養不足に苦しむ人々のために、身近なところで直接貢献できる仕組みとして事業展開している、アフリカ支援キャンペーン「ヨコハマ・フォー・アフリカ」の一つです。

主旨に賛同していただいた店舗が、アフリカ支援メニュー(アフリカ食材の使用、アフリカを支援することを表示した商品等)の提供や募金箱の設置等により、その売上げの一部などを、WFP 国連世界食糧計画の学校給食プログラムを活用してアフリカに寄付するものです。

※ 1 (3) アフリカを応援する! のア、イ、ウ、エの概要については、平成20年3月5日市長定例記者会見にて、アフリカ支援キャンペーン「ヨコハマ・フォー・アフリカ」として、発表しています。



## 「一駅一国」運動

5月に横浜で開催されるアフリカ開発会議に向けた市民のアフリカ理解を深める取組の1つとして、市民が身近にアフリカのことを知ることができるよう、市営地下鉄の全駅で、アフリカ諸国を紹介します。

市内の小学生がアフリカ諸国について学ぶ「一校一国」運動の成果も駅において発表します。

**実施内容** ※駅一覧（対象国及び対象校）は裏面をご覧ください。

- ・国旗やパネル、観光ポスター等の展示
- ・イベント実施（中山・センター南・新横浜・阪東橋）

### 【中山駅】

日時：5月2日、3日、10日、17日、24日、31日  
（18:00～20:00）

内容：民族楽器ジャンベ、トーキングドラム（伝達太鼓）等の演奏

グループ名：DDK

ホームページ：<http://www.kanyinsola.com/jpmain.html>

協力：ナイジェリア大使館



### 【センター南駅】

日時：4日、6日、11日、17日、19日、24日、26日、27日、31日  
（12:00～13:00、17:00～18:00）

内容：ボツワナ伝統ダンスと音楽

グループ名：Phate Ya Setso Cultural Troupe（パテ・ヤ・セツォ）

ホームページ：<http://www.d1.dion.ne.jp/~iactokyo/link.html>

協力：ボツワナ大使館

※オープニングセレモニー（予定）

平成20年5月1日（木）午後2時～

大使館関係者挨拶、本市関係者挨拶、ダンスと音楽

### 【新横浜駅】

日時：5月10日、24日（14:00～14:30、15:30～16:00）

内容：エチオピア民族舞踊

グループ名：モカ・エチオピア・ダンスグループ

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/mocha-ethiopia-dance/>

協力：エチオピア大使館

### 【阪東橋駅】

日時：5月10日（13:00～13:30、15:00～15:30）

内容：民族楽器ムビラの演奏

グループ名：ジャカナカ ムビラサークル

<http://www.mbirazvakanaka.com/>

ムビラ ハリの会

<http://www.hayashi-erika.com/>

協力：ジンバブエ大使館





駅一覧（対象国及び対象校）

駅名	対象国	一校一国運動対象校
湘南台	ルワンダ	大門小（瀬谷区）、原小（瀬谷区）
下飯田	ニジェール、ブルンジ、モーリシャス	
立場	マリ	伊勢山小（泉区）、中和田小（泉区）
中田	モーリタニア	いずみ野小（泉区）
踊場	モザンビーク	笠間小（栄区）、下瀬谷小（瀬谷区）
戸塚	コンゴ民主共和国	川井小（旭区）、東俣野小（戸塚区）
舞岡	中央アフリカ、トーゴ、ナミビア	
下永谷	レソト	境木小（保土ヶ谷区）
上永谷	リベリア	六浦小（金沢区）
港南中央	マラウイ	日下小（港南区）、山王台小（磯子区）
上大岡	南アフリカ	上大岡小（港南区）、本郷小（栄区）
弘明寺	ブルキナファソ	能見台小（金沢区）
蒔田	リビア	蒔田小（南区）
吉野町	チュニジア	洋光台第二小（磯子区）、洋光台第三小（磯子区）
阪東橋	ジンバブエ	永田小（南区）
伊勢佐木長者町	カメルーン	港南台第二小（港南区）、小坪小（港南区）
関内	ウガンダ	北方小（中区）、元街小（中区）
桜木町	ケニア	豊岡小（鶴見区）、本町小（中区）
高島町	セーシェル、赤道ギニア、ソマリア、チャド	
横浜	ガーナ	本牧小（中区）、川島小（保土ヶ谷区）、鶴ヶ峯小（旭区）、西柴小（金沢区）、荏田西小（青葉区）、東戸塚小（戸塚区）
三ツ沢下町	モロッコ	斎藤分小（神奈川区）、左近山第二小（旭区）
三ツ沢上町	マダガスカル	善部小（旭区）
片倉町	ジブチ	南神大寺小（神奈川区）
岸根公園	ベナン	白根小（旭区）
新横浜	エチオピア	菅田小（神奈川区）、戸部小（西区）
北新横浜	コンゴ共和国、サントメ・プリンシペ、シエラレオネ、スワジランド	
新羽	ザンビア	大曽根小（港北区）
仲町台	エジプト	子安小（神奈川区）、榎が丘小（青葉区）
センター南	ボツワナ	茅ヶ崎小（都筑区）
センター北	アンゴラ	南山田小（都筑区）
中川	エリトリア	西前小（西区）
あざみ野	タンザニア	もえぎ野小（青葉区）、新石川小（青葉区）
中山	ナイジェリア	東本郷小（緑区）、山下小（緑区）
川和町	セネガル	若葉台小（旭区）
都筑ふれあいの丘	スーダン	山下みどり台小（緑区）
北山田	コートジボワール	平安小（鶴見区）
東山田	ギニア	市場小（鶴見区）
高田	ガボン	港北小（港北区）
日吉本町	カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウ、コモロ	
日吉	アルジェリア	入船小（鶴見区）



# 第4回アフリカ開発会議 横浜開催記念事業

# 駅一 国 運 動

期間  
5 / 1  
5 / 31



市営地下鉄の各駅で、アフリカの各国を紹介します。各駅のコンコース等に、国旗やパネル、観光ポスター、小学校の子どもたちからのメッセージ等を展示します。

主催：横浜市開港150周年・創造都市事業本部 / 横浜市交通局

問い合わせ先：戦略的事業誘致課 TEL 671-4349 <http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/jigyou/ticad/>

**YOKOHAMA meets AFRICA / 見る、聞く、ふれる、学ぶ、遊ぶ、楽しむ。さまざまなアフリカに出会う5月の横浜! アフリカ月間**

アフリカ月間に、  
崎陽軒も協力します。

横浜の味を詰め込んだ定番の味、  
シウマイ弁当

【税込740円】

**KIYOKEN**

崎陽軒 お客様相談室 0120-882-380 <http://www.kiyoken.com/>

**横浜市交通局は、アフリカ月間を応援します。**

「一駅一国」運動(市営地下鉄各駅)  
市営地下鉄の各駅で、アフリカの各国を紹介していきます。各駅のコンコース等に、国旗やパネル、観光ポスター等を展示します。

**横浜市交通局**

アフリカ開発会議横浜開催推進委員会  
www.yokohama2008ticad.com  
事務局(開港150周年・創造都市事業本部 戦略的事業課) 電話 045-671-4349 FAX 045-663-9212

ヨコハマポートサイド地区  
横浜港  
みなとみらい21中央地区  
新港地区  
象の鼻地区  
北仲通地区  
関内地区  
関外地区  
山手地区

アフリカ月間記念イルミネーション  
環境基金場所  
観光案内所  
横浜(東西自由通路)・新横浜駅  
桜木町(みなとみらい21)記念案内所  
産業貿易センター(山下公園)

**アフリカを応援する!**

**31 はまっ子どうし for アフリカ**  
横浜のオフィシャルウォーター「はまっ子どうし」が「アフリカ開発会議」の横浜開催を記念して「FORアフリカ」キャンペーンポスターを販売。売り上げの一部でアフリカを支援します。取扱いは下記へお問い合わせください。  
【日時】3/20(水)～6/30(月)  
【お問い合わせ】水道局お客さまサービスセンター 045-847-8262

**32 RUN FOR AFRICA リレマソン「世界記録保持者 ゲブラセラシエに挑戦」**  
1チーム2名以上のグループで男子世界記録保持者ハイレ・ゲブラセラシエの持つ2時間4分26秒の記録に挑戦するチャリティーランニング大会。参加賞はゲブラセラシエのサイン入りシャツ、アフリカフードコートやアフリカダンス&ミュージックコーナーも同時開催。ゲブラセラシエのサイン入りグッズやメッセージも届く予定。  
【日時】5/24(土) 10:00スタート  
【会場】横浜日産スタジアム(横浜市港北区小机町3300) [www.nissan-stadium.jp/](http://www.nissan-stadium.jp/)  
【参加費】ひとり3,000円※当日受付可  
【お問い合わせ】TICAD市民社会フォーラム 03-5286-8261

**33 ウォーク・ザ・ワールド FOR アフリカ**  
元気なアフリカを応援するチャリティーウォーク。アフリカの子どもの飢餓撲滅のために横浜を歩くイベント。世界で6月1日にスタートするウォーキングに先駆けおこなわれます。  
【日時】5/25(日) 9:30～ 【会場・コース】みなとみらい臨港パーク～  
【参加費】1,000円(内500円を募金)  
※要事前申込(先着2,000人)下記URL電報にて [www.sportsentry.ne.jp/](http://www.sportsentry.ne.jp/)  
【お問い合わせ】ウォーク・ザ・ワールドエントリー事務局 0120-711-951

**アフリカに届け!緑の環境基金**  
みなぎりのあたたか〜い支援をWFP国連世界食糧計画へ寄付。地球温暖化防止や食糧確保のため、アフリカの森林植林に役立ちます。募金された方は「アフリカの緑」として「緑の種」をプレゼント。(配布予定数に達し次第終了)  
【期間】3/26～6/1(日)  
【募金場所】よこはま動物園ズラシア・野毛山動物園・金沢動物園・山手西洋館(横浜市イギリス館・山手111番館・山手234番館・エリスマン邸・ペーリックホール・プラファ18番館・外交官の家)  
【お問い合わせ】横浜市地球温暖化対策推進協議会 045-671-4103(事務局)

**Team Yokohama アフリカ支援キャンペーン(ユニセフアフリカ基金募金)**  
石井玲湖選手(横浜ベイクース)、松田直樹選手(横浜F・マリノス)、三浦淳矢選手(横浜FC)がアフリカの子どもの必要とする強力なチームを作りました。ユニセフ公共CM「Team Yokohama」を通じて、アフリカの子どものために支援を呼びかけています。  
募金は、郵便振替:00190-5-31000 口座名義:(財)日本ユニセフ協会 [www.unicef-kanagawa.jp/](http://www.unicef-kanagawa.jp/)

**アフリカを食べる!**

**34 アフリカの紅茶をどうぞ**  
期間中、アフリカの紅茶をメニューに追加してご提供いたします。  
【日時】5/1(木)～5/31(土) 10:00～16:00  
【会場】山手西洋館(外交官の家喫茶室、エリスマン邸喫茶室)  
【料金】450円(ポット)「ノーマーハウス」2F  
【お問い合わせ】横浜緑の協会 山手事務局 045-681-8646

**35 ワールドグルメフェア**  
「TICAD IV アフリカ開発会議」横浜開催にちなみ、アフリカ各国のグルメ料理に注目。buffeボードに南国の料理コーナーを設け、新しい食の体験をご提供いたします。ザンビアコーヒーやマラウイ紅茶、南アフリカの個性的なワインなども、併せてお楽しみいただけます。  
【日時】5/7(水)～31(土)  
【会場】ヨコハマグランド インターコンチネンタル ホテル プラザ・ダイニング「オーシャンテラス」  
【料金】ランチbuffe2,940円 / ディナーbuffe4,620円 (別途サービス料10%)  
【協力】日本貿易振興機構(ジェトロ)  
【お問い合わせ】ヨコハマグランド インターコンチネンタル ホテル「オーシャンテラス」 045-223-2678(オーシャンテラス直通) <http://www.interconti.co.jp/yokohama/>

**36 アフリカティータイム～癒しの時間～**  
アフリカティーとお菓子のセットをお楽しみいただけます。  
【日時】5/15(木)～6/1(日) 11:00～19:00  
【会場】パシフィック横浜ベイホテル東急ラウンジ「ノーマーハウス」  
【料金】1,500円(税・サシ)  
【協力】日本貿易振興機構(ジェトロ)  
【お問い合わせ】パシフィック横浜ベイホテル東急ラウンジ「ノーマーハウス」2F 045-682-2219(直通) <http://ppyh.co.jp>

**37 アフリカ紅茶セミナー**  
ウガンダ、マラウイ、ケニアの紅茶を紹介する紅茶セミナー。スナックと紅茶をお楽しみいただけます。  
【日時】5/20(火) 13:00～15:00/16:00～18:00  
【会場】山手西洋館(ペーリックホール)  
【料金】2,500円  
(アフリカスナックと3カ国の紅茶のティータイム・おみやげ付)  
※要事前申込 各回40名(合計80名)FAXまたは下記URLより申込ください  
【主催】日本貿易振興機構(ジェトロ)日本紅茶協会  
【お問い合わせ】日本紅茶協会 03-3431-6509 FAX03-3431-6711 [www.tea-a.gr.jp/seminar\\_training/seminar/](http://www.tea-a.gr.jp/seminar_training/seminar/)

第4回アフリカ開発会議横浜開催記念  
**アフリカ月間**  
2008 5.1 Thu ~ 5.31 Sat

5月、横浜はアフリカ色に染まる

楽しいイベントが横浜市内で開催されます!詳しくは下記サイトまで  
アフリカ開発会議横浜開催推進委員会 アフリカ月間 検索





第4回  
アフリカ IN 横浜  
開発会議

記者発表資料  
平成20年 5月 9日  
開港150周年・創造都市事業本部  
戦略的・事業誘致課担当課長  
漆原 順一 671-4344

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位



# 横浜を彩るアフリカン・イルミネーション開始

～ 山下公園通りにアフリカがやってきた！！ ～

第4回アフリカ開発会議横浜開催記念

本日より、アフリカ開発会議の開催を記念し、多くの観光客に親しまれている山下公園通りに、「アフリカン・イルミネーション」がいよいよ登場します。アフリカカラー※をほどこしたイチヨウの木や、アフリカをイメージする動物を中心としたオブジェなど、初夏の夜に、幻想的な「光のアート」が皆さまをお迎えします。



**開催期間**

平成20年5月9日（金）～5月31日（土）

18:30～24:00

**開催場所**

山下公園通り

**内 容**

イチヨウの木（LED+パナークロス）50本

LED 15,000球

オブジェ 50個

LED 5,000球

（主な内訳）

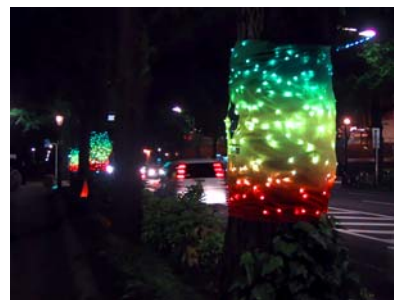
ライオン、キリン、カバ、バオバブの木、  
アフリカの楽器、アフリカ大陸、フラミンゴ等

※アフリカカラーとは

「赤・緑・黄」は、「アフリカの色」といわれ、多くのアフリカ諸国の国旗に使われています。

この内容は、4月25日付の市長定例記者会見「アフリカ月間いよいよスタート！」の中での既出事項です。

本日18:30より点灯しますので、あらためてお知らせいたします。



2008. 5. 28 (wed) - 30 (fri)



TICAD IV in Yokohama



記者発表資料  
 平成 20 年 1 月 28 日  
 開港 150 周年・創造都市事業本部  
 創造都市推進課担当課長  
 仲原正治 Tel. 671-3506

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 東横線跡地活用の基本的な方向性－東横線跡地活用懇談会とりまとめ－

東急東横線跡地の横浜～桜木町駅間については、「自転車も通れる遊歩道」及び「駐輪場」として整備を進めていますが、この跡地の高架下空間や壁面、旧桜木町駅駅舎等は、地域の活性化につなげることができる貴重な空間であることから、横浜市では、**地域関係者や有識者、近隣施設、行政からなる「東横線跡地懇談会」を設置**し、文化・芸術の創造拠点などを中心とした活用方法を検討してまいりました。

このたび、活用の基本的な方向性をとりまとめました。今後、この基本的な方向性に基づき、具体的な検討をすすめていきます。

### ■東横線跡地活用の3つの方向性 \*詳細は添付資料をご覧ください。

#### 1 周辺の地区を分断するものから、結ぶ・つなぐものへ

東横線跡地は周辺地区を相互に隔てる存在であったが、跡地活用においては、アートウォークとしてハイキングやピクニックのように楽しみながら歩ける空間としての魅力を持たせるとともに、周辺地区を有機的につなぐ機能を付加し、沿道や周辺と一体的な地区を形成していくことが望まれる。

#### 2 文化芸術を中心とした集客性を持たせる

ナショナルアートパーク(NAP)の一翼を担う場として、高架下・壁面・駅舎を、1.2kmの連続した帯として一体的に捉え、アーティストの創作空間や集客性のある施設の導入などにより、国内外から多くの人々が訪れる場として、集客性を持たせることが期待される。

#### 3 周辺地区の特性と課題を踏まえた周辺まちづくりとの連携

東横線跡地の沿道・沿線の特性や課題は多様である。これらの周辺地区の特性を踏まえてエリアごとに特徴を打ち出し、これらの地区のまちづくりに寄与できるものとしていくことが望まれる。

### ■開催経過

平成 19 年 3 月 8 日 : 第 1 回懇談会

平成 19 年 6 月 28 日 : 第 2 回懇談会

平成 19 年 11 月 20 日 : 第 3 回懇談会

\*この間、ワーキング(3回)及び地元ヒアリング(高島地区、野毛地区、戸部地区)を実施しました。

### ■懇談会メンバー 裏面名簿のとおり

座長:北山 恒(横浜国立大学教授、建築家)

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界隈の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索

旧東横線跡地活用懇談会

(敬称略)

	団体名	氏名
有識者 (2)	創造都市横浜推進委員会 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長)	吉本 光宏
	創造都市横浜推進委員会 (横浜国立大学教授、建築家)	北山 恒
地域 (5)	野毛地区街づくり会	会長 神田 信男
	高島地区整備促進連絡協議会	副会長 斉藤 攻
	戸部地区整備促進連絡協議会	副会長 金子 勝雄
	みなとみらい21街づくり協議会 (株)横浜みなとみらい21)	企画部長 三浦 経良
	横浜駅東口振興協議会	総務部次長 大峰 卓見
近隣施設 (8)	横浜にぎわい座(横浜市芸術文化振興財団)	副館長 森井 健太郎
	横浜能楽堂(横浜市芸術文化振興財団)	副館長 中村 雅之
	神奈川県立青少年センター(神奈川県)	館長 宍戸 和夫
	神奈川県立音楽堂(神奈川芸術文化財団)	館長 佐々木 豊
	横浜アートプラットフォーム 急な坂スタジオ (NPO法人アートプラットホーム)	ディレクター 相馬 千秋
	日本中央競馬会 ウインズ横浜	所長 松本 文武
	横浜市立本町小学校	校長 松本 安博
	横浜市立老松中学校	校長 鈴木 吉光
横浜市 (9)	西区 区政推進課	区政推進課長 福山 一男
	西土木事務所	副所長 丸林 和弘
	中区 区政推進課	区政推進課長 小沢 朗
	中土木事務所	副所長 鈴木 正幸
	道路局 企画課	企画課長 小林 正幸
	道路局 管理課	管理課長 貝沼 貞夫
	都市整備局 都市再生推進課	都市再生推進課長 守 英雄
	都市整備局 鉄道事業課	鉄道事業課長 伊藤 紀昭
	開港150周年・創造都市事業本部 創造都市推進課	担当課長 仲原 正治

計24名

## ■懇談会設置の目的

東急東横線の横浜駅～桜木町駅間は廃線となり、横浜市は国庫補助を導入しながら、用地を取得し、高架上を自転車も通れる遊歩道として、平成23年度の供用を目指して整備を進めている。この整備に伴って生じる高架下空間や壁面、旧桜木町駅舎等は、地域活性化につながる貴重な空間資源であることから、地域関係者や学識者、近隣の施設管理者、行政からなる懇談会を設置し、創造都市横浜の一翼を担う創造拠点として、跡地活用を検討するものである。

この東横線跡地については、ナショナルアートパーク構想において「東横線アートウォーク」として位置づけられており、文化芸術等の要素により魅力を付加し、市民が憩い、楽しめるスペースとして、単なる遊歩道以上の役割を果たすことが期待されている。また、この跡地は、横浜駅周辺地区と関内地区を結びつける機能を担うべく整備されてきたみなとみらい地区と、山側の既成市街地（高島・戸部・野毛）をつなぐ位置にあり、高架の上下空間の一体的活用、周辺地区とのネットワーク形成による都心部の回遊性強化に寄与することも求められている。

懇談会では、これらの位置づけを踏まえて、暫定利用を含め、中長期を見据えた整備の方向性を明確にすることを目的とする。

### ■ これまでの経過

第1回懇談会(3月8日):趣旨説明

第1回ワーキング(3月27日):活用策についての検討

地元ヒアリング

高島地区(4月25日)、野毛地区(5月8日)、戸部地区(5月9日)

第2回ワーキング(6月8日):活用策についての検討

第2回懇談会(6月28日):活用の方向性についての検討(これまでの意見のとりまとめ)

第3回ワーキング(9月6日):活用の方向性ととりまとめに向けた課題の整理

第3回懇談会(11月20日):活用の方向性のとりまとめ

## 5つの結節点の整備(バスからディストリクトへの転換)



東横線跡地(遊歩道及び高架下)と周辺地区をつなぐとともに、遊歩道の両側地区をつなぐアーオの5つの結節点整備が重要

## ■東横線跡地活用の3つの方向性

東横線跡地活用にあたっては、以下の3つの基本的な方向性を踏まえたものとする。

また、その具体化にあたっては、5つの結節点の整備、文化芸術的視点による高架下と壁面の活用、歴史的ななどの地区特性の考慮が重要である。

### 1 周辺の地区を分断するものから、結ぶ・つなぐものへ

～エッジからパスへ、パスからディストリクトへの転換～

東横線跡地は高島、戸部、野毛の山側と三菱ドック地区(みなとみらい地区)を隔てるエッジ(万里の長城)として存在していたが、東横線の跡地を横浜駅から桜木町までの歩行者空間(アートウォーク)として整備することは、まさにそのエッジに人が歩くパスとしての機能を付与しようとするものである。

跡地活用については、アートウォーク(パス)に横浜～桜木町間をハイキングやピクニックのように楽しみながら歩ける空間としての魅力を持たせるとともに、そのパスに周辺地区を有機的につなぐ・結ぶものとしての機能を付加し、沿道や周辺と一体的な地区(ディストリクト)を形成していくことが望まれる。

### 2 文化芸術を中心とした集客性を持たせる

ナショナルアートパーク(NAP)の一翼を担う場として、高架下・壁面・駅舎を、1.2kmの連続した帯として一体的に捉え、アーティストの創作空間や集客性のある施設の導入などにより、国内外からも注目され多くの人々が訪れる場として、跡地自体に集客性を持たせることが期待される。

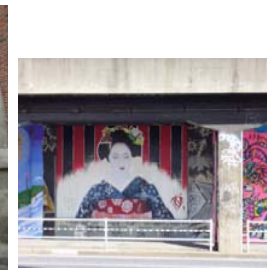
### 3 周辺地区の特性と課題を踏まえた周辺まちづくりとの連携

東横線跡地は、桜木町から横浜駅までと長くその沿道・沿線の特性や課題は多様である。このためこれらの周辺地区の特性を踏まえてエリアごとに特徴を打ち出し、これらの地区のまちづくりに寄与できるものとしていくことが望まれる。

## 高架下・壁面の活用(文化芸術による集客性確保)



海外における地下鉄廃線敷の活用事例(パリ、パステイユ)



東横線跡地における実験事業「ON THE WALL」

## 歴史性等の考慮(周辺まちづくりとの連携)



旧東横線高島町駅近くにあった「2代目横浜駅」



■ 結節点の整備

5つの結節点のうち3箇所は、将来特に重要な結節点であり、下記の整備イメージを踏まえた具体的な検討が望まれる。

(1) 旧高島町駅周辺

- ・横浜駅大改造計画と連携し、横浜駅方面からの快適なアプローチの確保
- ・みなとみらい地区・新高島駅方面、市営地下鉄高島町駅方面、周辺河川等を繋ぐスムーズな歩行動線の確保
- ・市営地下鉄高島町駅をみなとみらい方面につなぐ出入口の設置（地元要望）
- ・旧高島駅の上部との接続を活かした空間利用や高島歩道橋との接続
- ・桜川等の河川とその河川沿いの緑道を活かした歩行動線の確保
- ・第二横浜駅遺構をはじめとする歴史的な環境の活用と関係づけ
- ・高架下の空間を活用した、個性ある店舗・ギャラリー・文化芸術スタジオなど「まちの賑わい」の創出
- ・周辺地区との連携による文化芸術や賑わいの仕掛け作り



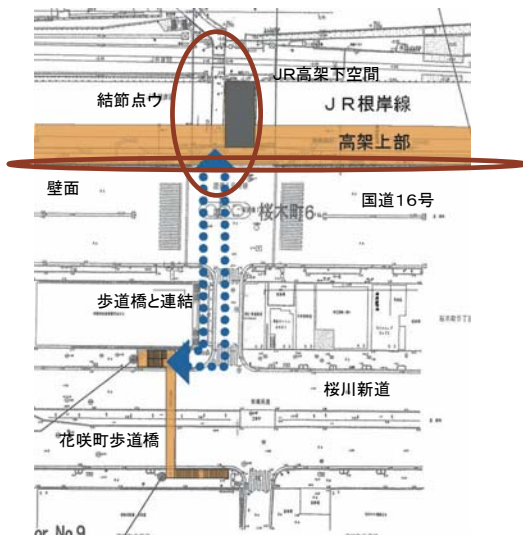
桜川沿いの緑道



2代目横浜駅の遺構

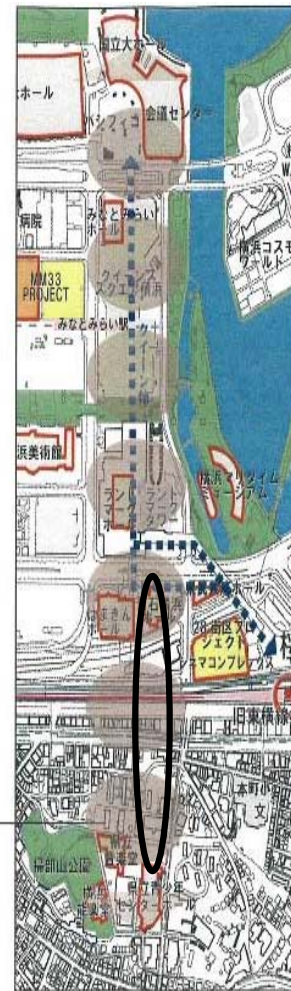
(2) 桜木町6丁目踏切付近

- ・地域住民の日常生活の利用に対する配慮や踏切の安全性の確保
- ・文化芸術をテーマとした壁面の活用
- ・JR高架下など現在金網のフェンスで囲われている部分の活用（スポットギャラリー・壁面の管理団体事務所等）
- ・結節点ウ～花咲町歩道橋の歩行者や自転車利用者のスムーズな動線の流れ



JR高架下の空間

(3) 紅葉坂周辺



- ・みなとみらい21クイーン軸沿いの文化施設と紅葉坂・掃部山周辺の県立音楽堂、能楽堂等を繋ぐ横浜文化軸の形成
- ・旧東横線上部（遊歩道）と紅葉坂を繋ぐ歩道橋可能性、みなとみらいゲートの可能性



紅葉坂



県立図書館前駐車場(文化軸)



県立青少年センター

(参考) 国道16号と東横線跡地の一体的活用について

併走する国道16号歩道と東横線跡地を一体的に活用することにより、快適で魅力あるアートウォークとしての相乗効果が期待できる。

- ① 高架の上下をつなぐ階段やエレベーター等のスペース確保
- ② 高架下の安全で快適な歩行環境の形成
- ③ 高架下壁面の活用を生かすための視点場や休憩スペースの確保

## ■高架下、壁面の活用

東横線跡地は、空間的に次の3つの部分にわけて活用の方向性を考える必要がある。一つは旧桜木町駅（07年から暫定利用）、2つ目は壁面部分の活用、3つ目が旧高島町駅周辺の高架下である。

### (1) 高架下の活用

旧高島町駅付近（結節点アーイの間）の高架下はまとまりがあり、空間的にも豊かで活用の幅が広い。また、周辺との関係においても、横浜駅東口及びみなとみらい地区と直結する場所であり、これまでと一転して空間価値の高い場所となる可能性が高い。

この空間を活用して文化芸術を中心とした集客性をもたせ、創造都市の賑わい空間を作り出すため、以下のような利用の方向性が考えられる。

- ① 展示スペース／イベント的な活用
- ② アトリエ・工房的利用（アーティストの制作の場）
- ③ アート関連ショップ、おしゃれで先端的な店舗
- ④ その他創造的産業
- ⑤ 博物館（地域の歴史、鉄道史などの資料を展示）
- ⑥ 集会室、コミュニティ施設
- ⑦ インフォメーション施設

高架下の土地利用に関しては、中長期の利用を展望し、魅力的で集客性の高い活用ができるよう、利用条件を詰めていくとともに、コンペ等の方法により、開発手法や利用の考え方を広く公募することが望まれる。

参考) パリ・バステュー 地下鉄廃線敷の活用事例



### (2) 壁面の活用

延長約1kmにも及ぶ壁面の活用については、07年2月から3月にかけて全壁面を壁画キャンパスとして開放する実験事業、「ON THE WALL」を実施した。その成果も踏まえて以下のような活用が考えられる。

- ① 壁画（特定のテーマの設定をしてもよい）
- ② 光、映像などによるアート
- ③ デザイン広告ボード

実施に際しては、実験事業と同様の公募、コンペ等によるアイデアの募集、アーティストの指名等の方法について検討を行うとともに、開港150周年やトリエンナーレ等のイベントとの連携を図る。

継続的な管理運営主体を導入し、地域や民間企業との連携を検討する。

また、今後遊歩道の工事を行う際には、工事用仮囲いについても、アートウォークにふさわしい配慮が望まれる。



工事用仮囲いのグラフィックス

## ■周辺まちづくりとの連携

### (1) 旧桜木町駅、平成21年度以降の整備の考え方

ーアートウォークの起点としてー

旧桜木町駅は、暫定的な形での駅舎の活用が決定し、「創造空間9001」として利用が開始された。

暫定活用終了後は、現在のところ、高架上の遊歩道の昇降口としての利用が想定されているだけである。しかし本来は、アートウォークの起点として、昇降する場をつくるだけでなく、開港の道、北仲地区、野毛地区方面へのデッキなどとつなぐ自転車・歩行者のネットワークをつくり、人々が集う新たな拠点として長期的整備イメージを確立する必要がある。

特に野毛地区にとって、旧桜木町駅周辺は、みなとみらい地区と連携できる拠点として大変重要であり、暫定活用と同様、野毛・紅葉坂・みなとみらいの文化施設と連携した活動やインフォメーション機能を持つ、歩行者等の集積拠点として、整備する必要がある。

### (2) 初代横浜駅・2代目横浜駅のイメージの再生

東横線跡地は、初代横浜駅、2代目横浜駅、3代目の現在の横浜駅をつなぐ位置にあり、2代目横浜駅の遺構も発見されたところである。

この地区特性を踏まえて、初代横浜駅・2代目横浜駅のイメージ戦略を發揮できる場所として、歴史的空間の再生を図ることで、創造都市の拠点としてふさわしい空間づくりを行うと同時に、周辺まちづくりに強いインパクトを与えることができる。



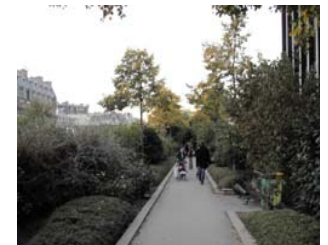
初代横浜駅(錦絵)「横浜の街づくり PLAN FOR YOKOHAMA」横浜市都市計画局)



2代目横浜駅

### (3) 高架上部の整備の考え方

高架上部については、自転車の通れる遊歩道として整備するだけでなく、文化芸術などの視点を加え、イベントでの活用や、市民が憩えるスペースとするなど、魅力的な空間として整備する必要がある。



パリ・バステュー 地下鉄廃線敷活用



横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
平成20年2月4日  
創造都市横浜推進協議会事務局  
開港150周年・創造都市事業本部  
創造都市推進課担当課長 中野 創  
TEL 671-3426

## クリエイティブシティの取り組みが企業に広がります！

### ～クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク 設立総会～

横浜市へのまちづくり政策提案や、社会貢献事業などをビジネスにつなげるための企業相互の連携、情報交換、調査研究を行う場として、新たに「クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク」を設立します。クリエイティブシティという都市政策に関心がある企業が、横浜を舞台に新たな事業を創出していきます。

設立総会の開催にあたり、当日の取材をお願いいたします。

#### 開催概要

##### 1 日時

平成20年2月6日(水) 15:30～17:00

##### 2 場所

BankART 1929 Yokohama 3階  
(横浜市中区本町 6-50-1)

・横浜みなとみらい線「馬車道駅」下車 1b 出口  
・JR/市営地下鉄「桜木町駅」徒歩 5 分  
・JR/市営地下鉄「関内駅」徒歩 7 分

##### 3 内容

- (1) 会則、代表選出 (約20分) ⇒ 冒頭の取材が可能です
- (2) クリエイティブシティの取り組みの紹介 (約40分)
- (3) 企業ネットワークのプロジェクト提案 (約30分)  
など

##### 4 設立経緯

- ・【平成18年2月～平成19年3月】クリエイティブシティ推進の仕組みづくりを検討  
本市及び都心臨海部の活性化に関わりのある商工会議所、港運協会、中法人会、三菱地所、そして企業メセナ活動など文化芸術分野で先進的な取組実績のある資生堂などの企業が参加したクリエイティブシティ・ヨコハマ研究会(代表委員:福原義春(資生堂名誉会長))で新しい官民協働の推進体制について検討し、協議会の設立を骨子としたクリエイティブシティ・ヨコハマの形成を目指した推進体制について提言をまとめる。
- ・【平成19年7月】創造都市横浜推進協議会を設立  
提言を踏まえて、企業、各種団体及び行政が相互に連携してクリエイティブシティ形成を推進する組織『創造都市横浜推進協議会』を設立。
- ・【平成19年10月】企業ネットワーク参加呼びかけを開始  
創造都市横浜推進協議会の事業計画として、『クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク』の設立発起人企業 10 社による、設立に向けた参加呼びかけを開始。

※ 設立総会の取材につきましては、開始時間の 5 分前に会場へお越し願います。  
詳細は上記電話番号へお問い合わせ下さい。

裏面あり

## クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク 参加(予定)企業

	企業名
設立 発起人	資生堂
	東京ガス
	東京急行電鉄
	東京電力
	凸版印刷
	東日本電信電話
	ぴあ
	ベネッセコーポレーション
	三菱地所
	森ビル

(50音順)

	企業名
会員	アート宝飾
	あいおい損害保険
	朝日広告社
	アサヒビール
	荒井屋
	ありあけ
	IDA Watch
	IMAGICA イメージワークス
	飾一
	かをり商事
	キタムラ ケイツウ
	崎陽軒
	麒麟ビール
	クレディセゾン
	京浜急行電鉄
	源豊行
	サンドグラスヨコハマ
	CSKホールディングス
	椎野正兵衛商店
	上総屋商店
	水曜社
	鈴音
	損保ジャパン
	大広
	高島屋 横浜店
	タカナシ販売
	ダニエル
	近沢レース店
	CHARMY TANAKA
	日産自動車
	フクゾー洋品店
	藤木企業
	ホテルニューグランド
	ポピー
マスオ	
増田工芸	
丸加	
三井不動産	
モリモト	
有隣堂	
横浜銀行	
リーテム	

(50音順)

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界隈の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索

# ソーシャル・ クリエイティブ・ ビジネス フォーラム

SOCIAL meets CREATIVE

3月26日(水) 14:00~

環境・福祉・教育・途上国問題など、社会的課題をビジネスを通して解決しようとする「ソーシャル・ビジネス」が、各地域で注目を集めています。

そこから生み出される商品やサービスが、より多くの人々の関心や共感を得るためには「ソーシャル」なメッセージを「クリエイティブ」(デザイン)の力で分かりやすく伝えることが重要です。

このフォーラムでは、「SOCIAL meets CREATIVE」をテーマに、クリエイティブシティ・ヨコハマならではのソーシャル・ビジネスについて考えます。

## 参加費 (交流会費含む)

一般 2,000円

※クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク参加企業、SIJ会員、Social Ecooアソシエイト・メンバー、学生は1,000円  
※交流会のみのご参加も可能です。

## 会場

BankART 1929 Yokohama 1929ホール

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1

TEL 045-663-2812

<http://www.bankart1929.com>

みなとみらい線「馬車道駅」1b出口

JR市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分

JR市営地下鉄「関内駅」徒歩7分



主催 ● NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン(SIJ)

横浜市開港150周年・創造都市事業本部

創造都市横浜推進協議会

後援 ● 経済産業省

協賛 ● 三菱東京UFJ銀行

協力 ● NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

BankART1929

## 第1部

## ソーシャル・クリエイティブ・ ビジネス フォーラム

- 14:00 開会 川口良一氏  
(創造都市横浜推進協議会事務局長 / 横浜市開港150周年・創造都市事業本部長)
- 14:05 来賓挨拶 大塚洋一郎氏  
(経済産業省 大臣官房審議官)
- 14:15 基調講演 谷本寛治氏  
(SIJ代表理事、一橋大学大学院商学研究科教授)
- 14:35 特別講演 水野誠一氏  
(Think the Earthプロジェクト 理事長)
- 15:25 ★ソーシャル×クリエイティブ セッション(1)
- 16:30 ★ソーシャル×クリエイティブ セッション(2)
- 17:35 閉会 大村弘道氏 (SIJ 常務理事)

## 第2部

## 交流会 18:00~19:15

- 創造都市横浜推進協議会からの挨拶と乾杯  
加藤種男氏 (横浜市芸術文化振興財団 専務理事)
- クリエイティブシティ・ヨコハマの紹介
- 横浜市内のソーシャル・クリエイティブ・ビジネス紹介

## ★ソーシャル×クリエイティブ セッション(1)

### セッションA「エコ」×クリエイティブ

コーディネーター

大場龍夫氏 (株式会社森のエネルギー研究所 代表取締役)

パネリスト

上田社一氏 (Think the Earthプロジェクト プロデューサー)

関根健次氏 (ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役)

### セッションB「コミュニティ」×クリエイティブ

コーディネーター

杉浦裕樹氏 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ)

パネリスト

池田修氏 (BankART1929 代表)

吉澤卓氏 (財団法人横浜開港150周年協会 市民参加ディレクター)

## ★ソーシャル×クリエイティブ セッション(2)

### セッションA「国際」×クリエイティブ

コーディネーター

小出浩平氏 (SIJシニアフェロー)

パネリスト

植田紘栄志氏 (株式会社ミチコーポレーション 代表取締役)

近澤弘明氏 (株式会社近沢レース店 代表取締役社長) 他

### セッションB「CSR」×クリエイティブ

コーディネーター

土肥将敦氏 (高崎経済大学地域政策学部専任講師)

パネリスト

今津秀紀氏 (凸版印刷株式会社トッパンアイデアセンタープロデューサー)

永田宏和氏 (NPO法人プラス・アーツ 理事長)

山田俊彦氏 (東京ガス株式会社 広報部社会文化センター 課長)



特別講演

水野 誠一氏

Think the Earth  
プロジェクト理事長

【プロフィール】

西武百貨店代表取締役社長、慶応義塾大学総合政策学部特別招聘教授、参議院議員を経て、現在、(株)インスティテュート・オブ・マーケティング・アーキテクチャ、(株)リプロジェクト・パートナーズ、代表取締役C.E.O。  
横浜開港150周年記念コアイベント実施計画策定業者選定評価委員会 委員長も務める。

■Think the Earthプロジェクトとは

「エコロジーとエコノミーの共存」を基本テーマに、メッセージ性のある商品・サービスをプロデュースするなど、ソーシャル・クリエイティブな活動を展開している。



基調講演

谷本 寛治氏

NPO法人ソーシャル・  
イノベーション・  
ジャパン代表理事

【プロフィール】

一橋大学大学院商学研究科教授、経営学博士。経済産業省「ソーシャル・ビジネス研究会」座長。主な著書に『ソーシャル・エンタープライズ』（編著）中央経済社、『CSR-企業と社会を考える』NTT出版。

■NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン (SIJ)とは社会性、事業性、革新性を持って、社会的課題をビジネスを通じて解決する「社会的企業家(ソーシャル・アントレプレナー)」を支援するNPO。

参加申込書

NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン事務局

**FAX 03-5775-7671**

ホームページ <http://www.socialinnovationjapan.org/>からもお申込できます。

必要事項をご記入の上、送信ください。★は必須事項です。

ふりがな			お申込日★	3月	日
お名前★					
ご所属先★					
事業内容					
電話番号★		FAX番号			
ご住所★	〒	—			
E-mailアドレス★					
参加するものに★ チェックをしてください	<input type="checkbox"/> ソーシャル・クリエイティブ・ビジネス フォーラム		<input type="checkbox"/> 交流会		
登録種別★ (チェックをしてください)	<input type="checkbox"/> 一般		<input type="checkbox"/> クリエイティブシティ・ヨコハマ・企業ネットワーク参加企業		
	<input type="checkbox"/> SIJ会員		<input type="checkbox"/> Social Ecooアソシエイト・メンバー		
				<input type="checkbox"/> 学生	
アンケート★ 出席者の皆様のネットワーク促進のため、ご氏名・ご所属・ご連絡先（メールアドレスのみ）を入れた出席者リストを作り、当日配布する予定です。ご記入いただいた上記個人情報を、当日配布することにご承諾いただけますか？				(お返りください) 承諾する 承諾しない	
SIJインフォメーション (社会的企業に関するニュース、イベント情報などを不定期で配信します※無料) <input type="checkbox"/> 不要な方はチェックをしてください					

お問い合わせ ☎ NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン

E-mail : [info@socialinnovationjapan.org](mailto:info@socialinnovationjapan.org)

TEL 03-6820-6300 FAX 03-5775-7671 担当：鹿木、齊藤



横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
平成20年2月25日  
開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課  
担当課長 松村岳利 Tel. 671-3864  
(財)横浜市芸術文化振興財団  
事業開発グループ長 藁谷はるか Tel.221-0212

# 「横浜トリエンナーレサポーターズニュース」創刊！



横浜トリエンナーレサポーター企画・運営イベント第四弾！

横浜トリエンナーレサポーター第7回HOP会議

## 特別企画 神戸ビエンナーレボランティアとの交流会！

今年の秋に開催する「横浜トリエンナーレ2008」を市民の力で盛り上げる為に、広報やイベントなど、自主的な活動を行うグループ「横浜トリエンナーレサポーター」の活動が、いよいよ活発になってきました。

横浜トリエンナーレをウォッチし、広くPRする「サポーターズニュース」が誕生するとともに、3月8日には昨秋開催された神戸ビエンナーレのボランティアとの交流会を開催します。

9月の開催に向けて、ますます盛り上げるサポーター達の活動にご注目ください！

### ◆「横浜トリエンナーレサポーターズニュース」創刊！

サポーターたちが取材から編集まで、全てを作り上げる「横浜トリエンナーレサポーターズニュース」創刊号が発行されました。

創刊号は水沢勉総合ディレクターへのインタビュー記事や、12月8日に行われたサポーターイベント「横浜トリエンナーレ2008ぐるり3会場ウォーク」の様子、サポーターたちの活動内容など、トリエンナーレサポーターの熱い思いが満載です。

#### 横浜トリエンナーレサポーターズニュース創刊号

A5冊子／16ページ／無料

発行日：平成20年2月25日

企画・制作：横浜トリエンナーレサポーター  
(広報グループ)

発行部数：1万部

配布先：ZAIM(中区役所となり)1F事務所  
区役所・市内公共施設・美術館 ほか

主な内容：  
・水沢総合ディレクターインタビュー  
・ドクメンタ12  
・ぐるり3会場ウォークレポート  
・サポーター活動について  
・周辺アート情報



## ◆横浜トリエンナーレサポーター 第7回HOP会議

港町神戸のボランティアを港町横浜にお迎えし、意見交換を行います

今回のHOP会議は、特別企画として、昨年行われた「第1回神戸ビエンナーレ2007」のボランティア2名と神戸市職員2名を招き、国際現代美術展におけるボランティア活動の取り組みや、ボランティアとして関わる意義など、様々なことについて意見交換を行います。

アートボランティアに興味のある方、ボランティア活動に参加しようか迷っている方、この機会にぜひご参加ください！

- 第1部：サポーターからの活動報告 等（参加費無料）**  
**第2部：特別企画「神戸ビエンナーレボランティアとの交流会」（参加費無料）**  
**第3部：懇親会（軽食あり 参加費500円）**

横浜トリエンナーレサポーターは  
どなたでも、いつからでも参加可能  
です！現在約180名の方が登録  
し、活動しています。ぜひHOP会  
議を覗いてみてください！



(神戸ビエンナーレ) ポートタワー上より会場を見る

photo : SHOTA Yanagawa

- ◎…日時 平成20年3月8日(土) 13時～18時  
第1部: 活動報告等 13時～14時  
第2部: 交流会 14時～16時30分  
・神戸ビエンナーレの紹介  
・神戸ビエンナーレボランティアの活動紹介 等  
第3部: 懇親会 17時～18時

◎…会場 ZAIM 別館202号室

JR 関内駅 南口 または 市営地下鉄関内駅 出口1 から徒歩5分  
みなとみらい線日本大通駅 出口1 から徒歩2分

◎…参加申込み 3月5日(水)までに、人数、お名前、ご連絡先  
を明記して、下記までお申し込みください。

◎…定員 約100名

◎…参加費 第1部・第2部 無料  
第3部 500円(当日徴収)

◎…主催 横浜トリエンナーレサポーター

◎…お申込み・問合せ

<事務局>

〒231-0003

横浜市中区北仲通4-40 商工中金横浜ビル5階

(財団法人横浜市芸術文化振興財団内)

横浜トリエンナーレサポーター担当

Tel.:045-221-0212 Fax:045-221-0216

Eメール:yokotori.shimin@yaf.or.jp

※当日ご取材の際は、直接会場受付へお越しください。

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造境界の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索



私たちは横浜トリエンナーレ 2008 を応援しています



特別企画!

# 横浜トリエンナーレ 2008

## 第7回HOP会議

近年は世界中で美術の国際展が盛んに開催され、9月より始まる「横浜トリエンナーレ 2008」は日本最大級の国際美術展です。現在約200名のボランティアがトリエンナーレを盛り上げる活動をしています。今後、より充実した活動ができるよう、今回のHOP会議は特別企画、昨年開催された「神戸ビエンナーレ 2007」のボランティアさんとの交流会を開催します。アートボランティアに興味のある方、ボランティア活動に参加しようか迷っている方、この機会にぜひご参加下さい。アートボランティアって何なのか、楽しい活動をするにはどうすればいいのかなど自由に話し合しましょう!

日時：2008年**3月8日(土)** 13:00～18:00

第1部 13:00～14:00・・・サポーターからの活動報告など

第2部 14:00～16:30・・・特別企画「神戸ビエンナーレボランティアとの交流会」

第3部 17:00～18:00・・・懇親会

場所：**ZAIM 別館202号室**(地図は裏面参照)

☆HOP会議とは、横浜トリエンナーレを市民で盛り上げる場です。どなたでも参加できます。

### 神戸ビエンナーレボランティアとの交流会

ゲスト：神戸ビエンナーレボランティア、神戸市担当職員

費用：第1部と第2部は無料

第3部は参加費お一人500円

○プログラム(予定)○

- ・神戸ビエンナーレの紹介
- ・神戸ビエンナーレボランティア活動の紹介
- ・アートボランティアについて交流会
- ・懇親会



○参加のお申し込みは、3月5日(水)までに下記までご連絡下さい。

(財)横浜市芸術文化振興財団 横浜トリエンナーレサポーター担当

横浜市中区北仲通 4-40 商工中金横浜ビル(財)横浜市芸術文化振興財団内

TEL: 045-221-0212 FAX: 045-221-0216 メール: yokotori.shimin@yaf.or.jp

URL: <http://www.yaf.or.jp/yokotori/entrance2.html>

横浜トリエンナーレサポーター募集中! ご希望の方は上記まで!

—神戸で初開催となる総合芸術祭—

柳川翔太

(元神戸ビエンナーレ組織委員会事務局職員)

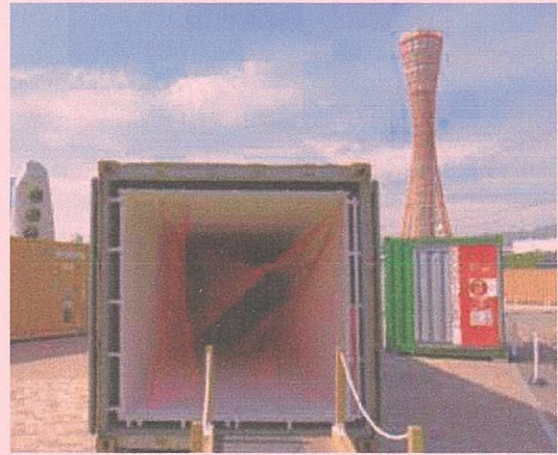
2004年12月4日に「神戸文化創生都市宣言」を行い、神戸の芸術文化の力を内外に発信していく機会を設け、まちのにぎわい、活性化につなげる試みとして、「神戸ビエンナーレ2007」が2007年10月6日(土)から11月25日(日)の51日間にわたり開催されました。

「出会い～人・まち・芸術」をテーマに、現代アート、伝統芸術である「いけばな」や「書道」等、多彩なジャンルへの挑戦を試みました。

コンペティション形式を取り入れ、新たな作品の創造性を高めるとともに、多くの人々の力が結集し、来場者が14万4千人という大変盛り上がった芸術祭となりました。

ここで大切なのが、芸術祭のサポートだけでなく地域への浸透や文化としての浸透を行う上でボランティアが大きな役割を担っていたということです。

今回の交流会では、「神戸ビエンナーレ2007」でのボランティア活動の紹介からアートへの関わり方など、市民アートについて考えていきたいと思います。



「横浜トリエンナーレ2008」とは

「ときの裂け目」を意味する全体テーマ「タイムクレヴァス」のもと、世界各地より60人から70人程度の作家を選定し、最先端の現代美術(映像、インスタレーション、写真、絵画、彫刻など)を一堂に展示する。会期中はシンポジウムやワークショップ、ギャラリートークなどの交流イベントを実施し「芸術の祭典」としての盛り上げをはかる。

<開催概要>

名称: 横浜トリエンナーレ2008

総合ディレクター: 水沢 勉(神奈川県立近代美術館企画課長)

テーマ: 「TIME CREVASSE(タイムクレヴァス)」

会期: 2008年9月13日(土)～11月30日(日)79日間

会場: 横浜市都心臨海部3会場

- ・新港ふ頭仮施設(仮称)
- ・日本郵船海岸倉庫(Bark ART Studio NYK)
- ・横浜赤レンガ倉庫1号館

主催: 国際交流基金、横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会ほか

「横浜トリエンナーレサポーター」とは

横浜トリエンナーレ2008を市民の力で盛り上げるために、会期前に様々な活動を自主的に行うグループです。「調査・研究」、「広報」、「イベント」などのグループがあり、それぞれアイデアを出し合って、どんな活動ができるかを話し合い、活動を行っています。現代アートがお好きな方、ボランティアや街づくり、イベント運営に興味のある方、ぜひご参加下さい。参加申し込みは表面の申込先と同じです。

ZAIM(ザイム)への交通案内

〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 電話 045-222-7030



みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩2分

JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩5分

日本大通り角、中区役所となり

※駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

ZAIM(ザイム)は、元、旧関東財務局・旧労働基準局の建物を、「横浜トリエンナーレ2005」の準備期間から終了まで、市民サポーターやアーティストの活動と交流の場として活用されました。現在も「横浜トリエンナーレ2008」に向けて市民サポーターやアートNPOの活動の場となっています。



記者発表資料  
平成20年2月26日  
開港150周年・創造都市事業本部  
創造都市推進課長 今井信二 Tel.671-4241

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 「フランスで最も住みやすい都市」ナント と横浜による シンポジウム「建築・アートと都市空間の創造」を開催！

横浜市は、クリエイティブシティの実現に向け、様々な取組を進めています。

このたびフランスのナント市からまちづくりの専門家他を迎え、ナントと横浜のクリエイティブシティを語るシンポジウムを開催しますので、取材をお願い致します。

\*ナント市：製造業や造船業で発展したものの、その衰退にともない活力を失っていましたが、文化による都市の再生を果たし、2003年にはフランスで「最も住みやすいまち」（「ル・ポワン誌」2003 調査）と評価されるまでに復興を果たしたヨーロッパにおけるモデル的創造都市です。

- 日時：平成20年2月27日（水）18:00～20:00（20:00～21:00 意見交換会）
- 会場：BankART Studio NYK（横浜市中区海岸通3-9MM線「馬車道駅」下車4分）

### ★イントロダクション

◇「クリエイティブシティ・ヨコハマについて」

北村 圭一（開港150周年・創造都市事業本部 150周年記念事業・創造都市推進課長）

◇「ナント市について」

ジャン・ルイ・ボナン（ナント市文化顧問）

### ★プレゼンテーション

◇「ナント島及び創造都市プロジェクト」

ローラン・テリー

（大西洋沿岸首都圏西部開発協会局長／元ナント都市共同体局長）

◇「横浜の都市デザイン」

国吉 直行（横浜市都市整備局上席調査役）

### ★パネルディスカッション

「建築・アートと都市空間の創造」

パネリスト

ピエール・ジャン・ガルダン（ナント美術学校校長）

ローラン・テリー

山本 理顕（横浜国立大学大学院 建築都市スクール“Y-GSA” 校長）

国吉 直行

コーディネーター

鈴木 伸治（横浜市創造都市アドバイザー／横浜市立大学准教授）

【定員】100名。申込受付は26日に終了します。

【主催】横浜市

【共催】横浜国立大学大学院／建築都市スクール“Y-GSA”

【助成】財団法人 自治体国際化協会

★取材・・・当日、直接会場にお越しください。

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造境界の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ

創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索

## 【パネリスト等プロフィール】

### ◇ジャン・ルイ・ボナン

(ナント市文化顧問)

95年よりナント市文化局長、06年から現職。ナント市の文化政策を核とする都市再生の中心的人物。ランス市、ラ・ロシェル市、ブロワ市で文化企画局長等歴任後、ジャック・ラング元文化相のもとでブロワ城修復や国立文化センターの創設を担当するなど、フランス各地で文化専門家として業績を残す。83-86年には、文化省主催の文化政策担当者向け講座の責任者を務めるフランスにおける文化行政、地方文化政策の専門家。

### ◇ローラン・テリー

(元ナント都市共同体局長)

85年サン・ナゼール市開発部長、90年サン・ナゼール市地方開発委員会(DDRN)委員、91年サン・ナゼール市事務局長、95年ナント都市圏事業地区局長、01年ナント都市共同体局長、を経て、03年から大西洋沿岸首都圏西部開発協会(SAMOA)局長。都市整備クラブ会長、フランス都市計画促進協会(AFPPU)会長。国家功労章受勲。

### ◇ピエール・ジャン・ガルダン

(ナント美術学校校長)

82年画像のインタラクティブ・テクノロジー研究センター創設、86年ラベージュ現代芸術センター設立(トゥールーズ)90年サントル地方圏文化局造形芸術顧問、96年オブジェ美術館-エリック・ファールブル・コレクション設立(ブロワ)、00年アール・モデスト国際美術館設立、03年教育大臣ジャック・ラングの造形芸術顧問。

### ◇国吉 直行(くによしなおゆき)

(横浜市都市整備局上席調査役、エグゼクティブアーバンデザイナー)

71年に横浜市企画調整局に入庁し、以来一貫して横浜市の都市デザイン行政を担当。都市計画局都市デザイン室長を経て、都市整備局上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナー。早稲田大学早稲田芸術学校・日本大学大学院・横浜市立大学大学院などで非常勤講師。著書『都市デザインと空間演出』ほか。

### ◇山本 理顕(やまもとりけん)

(横浜国立大学大学院 建築都市スクール“Y-GSA”校長)

73年株式会社山本理顕設計工場設立。07年からY-GSA(横浜国立大学大学院/建築都市スクール校長)教授。主な作品「埼玉県立大学」、「公立はこだて未来大学」、「東雲キャナルコートCODAN1街区」、「北京建外SOHO」「横須賀美術館」など。受賞歴：日本建築学会作品賞、日本芸術院賞、毎日芸術賞、BCS賞、公共建築賞優秀賞、他多数。

### ◇鈴木 伸治(すずきのぶはる)

(横浜市創造都市推進アドバイザー/横浜市立大学准教授)

95年東京大学大学院工学系研究科助手、06年関東学院大学工学部土木工学科助教授を経て現職。07年度から創造都市アドバイザー。横浜市まちなみ研究会委員兼幹事長、横浜市景観ビジョン検討会アドバイザー、横浜市創造界隈形成推進委員会委員等、日本都市計画学会論文奨励賞他受賞。

横浜市では、クリエイティブシティ=創造都市の実現に向け、様々な取組を進めています。このたびフランスのナント市から、まちづくりの専門家を迎え、ナントと横浜のクリエイティブシティについて語るシンポジウムを開催します。ナント市は、造船業の衰退にともない活力を失っていましたが、文化による都市の再生を果たし、2003年にはフランスで最も住みやすいまちと評価されるまでに復興を果たしたヨーロッパにおけるモデル的創造都市です。なお、横浜市はナント市をはじめとするフランスの6都市と「日仏都市文化対話会議\*」を開催し、様々な都市交流を進めています。

\* ナント市の提案により、2008年の日仏交流150周年を契機に、2009年度まで日仏諸都市の文化芸術分野における多面的な交流を積極的に推進することを目的に開催。日本は横浜市、新潟市、金沢市、フランスはナント市、リヨン市、アミアン市、リール市、ランス市、トゥール市の6都市が参加。2007年7月にナント市で第1回会議を開催。



ナント・横浜日仏都市文化対話シンポジウム

# 建築・アートと 都市空間の創造

2008年2月27日 [水] BankART Studio NYK

シンポジウム 18:00~20:00 (17:30開場) | 意見交換会 20:00~21:00

主催：横浜市 [開港150周年・創造都市事業本部、都市整備局]

共催：横浜国立大学大学院 / 建築都市スクール“Y-GSA”

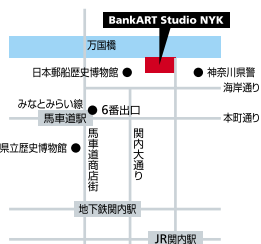
助成：財団法人自治体国際化協会

◎ 定員：100名 [定員になり次第締切] ◎ 申込：裏面の申込用紙に必須事項を記入の上、FAX [045-663-9212] でお送りいただくか、または、所属名、氏名 [複数名参加の場合は参加者全員を記載]、連絡先、意見交換会参加の有無を明記し、Eメール [ts-ninaite@city.yokohama.jp] でお申込ください。

◎ 締切：2月26日 [火]

**参加無料** [日仏同時通訳]

S  
Y  
M  
P  
O  
S  
I  
U  
M  
  
nantes ◦ yokohama



**BankART Studio NYK**  
231-0002 横浜市中区海岸通3-9  
みなとみらい線「馬車道駅」下車6番出口より徒歩4分  
JR・市営地下鉄「関内駅」下車 徒歩7分

**イントロダクション**  
クリエイティブシティ・ヨコハマについて

北村 圭一  
開港150周年・創造都市事業本部  
150周年記念事業・創造都市推進部長

**ナント市紹介**  
ナント市の都市再生について

ジャン・ルイ・ボナン  
ナント市文化顧問

**プレゼンテーション**  
ナント島及び創造都市プロジェクト

ローラン・テリ  
大西洋沿岸首都圏西部開発協会局長  
元ナント都市共同体局長

**横浜の都市デザイン**

国吉 直行  
横浜市都市整備局上席調査役  
エグゼクティブアーバンデザイナー

**パネルディスカッション**  
建築・アートと都市空間の創造

【パネリスト】

ピエール・ジャン・ガルダン  
ナント美術学校校長

ローラン・テリ

山本 理顕  
横浜国立大学大学院 建築都市スクール“Y-GSA” 校長

国吉 直行

【コーディネーター】

鈴木 伸治  
横浜市創造都市アドバイザー  
横浜市立大学准教授

**意見交換会**

参加者との自由意見交換会



# 建築・アートと 都市空間の創造

## 参加申込方法

下記申込用紙に必要事項をご記入の上、申込先までFAX [**045-663-9212**] でお送りいただくか、所属名、氏名 [複数名参加の場合は参加者全員を記載]、連絡先、意見交換会参加の有無を明記し、Eメール [**ts-ninaite@city.yokohama.jp**] でお申込ください。

参加費 …………… 無料  
定員 …………… 100名

## 申込用紙

● 所属名

● 氏名 [複数名ご参加される場合は参加者名をすべてご記入ください。]

● 連絡先

● 意見交換会参加人数 [参加費：お一人様 1,000円]

名

● 備考

ご送付いただいた情報は、当シンポジウムの目的にのみ使用いたします。

S  
Y  
M  
P  
O  
S  
I  
U  
M  
nantes o yokohama

申込先・問合せ先

**横浜市開港150周年・創造都市事業本部**

231-0017 横浜市中区港町1-1 | Tel. 045-671-2278 | Fax.045-663-9212

E-mail:ts-ninaite@city.yokohama.jp

[www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/project/bring/about.html](http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/project/bring/about.html)



記者発表資料

平成 20 年 3 月 18 日

開港150周年・創造都市事業本部

創造都市推進課担当課長 今村裕一郎

TEL 671-4309

創造都市推進課担当課長 仲原 正治

TEL 671-3506

創造都市推進課長 今井 信二

TEL 671-4241

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 創造都市＝クリエイティブシティ・横浜の実現へ

～アートを活用したまちづくりの更なる前進と評価について～

横浜市は、港を囲む独自の歴史や文化を活用し、芸術や文化のもつ創造性を生かして都市の新しい価値や魅力を生み出す都市づくりを進める「クリエイティブ・シティ」の取組を進めてきました。

こうした横浜市の取組や魅力を国内外へ広くアピールするための事業である「横浜トリエンナーレ 2008」について、このたび世界各地から選定された参加アーティストの第一陣が決定し、展覧会の狙いが明らかになりました。

また、トリエンナーレと開催時期を合わせ、地域連動型のアートフェスティバル「黄金町バザール」の開催概要が決定しました。

さらに、これまでの横浜市の一連の取組に対し、文化長官表彰「文化芸術創造都市部門」（今年度新設）の受賞が決定しました。

横浜市は、クリエイティブ・シティの実現に向けて、更なる一步を踏み出します。

### ●世界が注目する「横浜トリエンナーレ 2008」

～参加作家第一陣として、アーティスト30名を発表

### ●黄金町バザール開催概要決定！！

～この秋、アートがまちを変える～皆さんも是非ご参加下さい

### ●文化庁長官表彰、本市が受賞

～今年度創設の「文化芸術創造都市部門」第1号

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界隈の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索